平成21年度

まちづくり懇談会
記　録　誌

平成22年３月

入　善　町

目　次

まちづくり懇談会の概要　・・・

まちづくり懇談会の概要

１．実施要項

２．開催次第

３．参加者数及び
　　各会場の内容

――― 平成21年度「まちづくり懇談会」実施要項 ―――

１．趣　　旨

入善町では、平成13年度から「扇状地にひと・くらし輝くまち入善」を将来像として、さまざまな事業を行ってきました。しかし、人口が減少するなど、町を取り巻く状況は大きく変化しました。新総合計画の策定にあたり、町民の皆さんから幅広くご意見を伺い、今後の計画策定に反映させるため、まちづくり懇談会を開催する。

２．開催テーマ　「新総合計画について」

３．開催内容

（１）懇　談　会　全町議題Ⅰ「町民意識調査の結果とまちづくりの課題について」
地区議題Ⅱ「地区設定のテーマについて」（１～３程度自由設定）

（２）出　席　者　町長、副町長、教育長、総務課長、企画財政課長、建設下水道課長、健康福祉課長、地元出身課長等

（３）ご意見カード

・出席者にまちづくり、地域づくり等について、意見、提言、要望等を記入してもらい、終了後に回収する。

・記録として意見提言をまとめ、町政執行上の参考とする。

（４）記　　録　懇談会の内容をとりまとめ、各地区に配布及び町ホームページで公開する。

４．開催期日

平成21年10月29日（木）～12月３日（木）

５．開催時間

午後７時30分～午後９時

――― 平成 21 年度　まちづくり懇談会　開催次第 ―――

日　時：　平成 21 年 10 月 29 日（木）～12 月３日（木）
　　午後７時 30 分～
会　場：　町内 10 地区公民館等

１．あいさつ

２．町政についての現況報告

３．懇談会

議題Ⅰ「町民意識調査の結果とまちづくりの課題について」（町提言）

議題Ⅱ「各地区設定のテーマ」（地区提言・要望等）

４．閉会

――― まちづくり懇談会　参加人数及び各会場の内容 ―――

地 区 名	参加人数	H20	開 催 日	前 年 比
入　善	135	138	12 月 1 日（火）	△3
上　原	71	130	11 月 30 日（月）	△59
青　木	40	39	11 月 16 日（月）	1
飯　野	72	65	11 月 10 日（火）	7
小摺戸	41	28	10 月 29 日（木）	13
新　屋	113	103	11 月　5 日（木）	10
椚　山	63	70	12 月　2 日（水）	△7
横　山	88	53	11 月　9 日（月）	35
舟　見	51	60	11 月 13 日（金）	△9
野　中	58	70	12 月 3 日（木）	△12
合　計	732	756		△24

日		12 月 1 日（火）	11 月 30 日（月）
地　　区		入　善	上　原
開催場所		うるおい館・イベントホール	産業展示会館
区長会長		水野　勝利	奥田　寛治
司　　会		竹内　郁夫	長津　善元
座　　長		大角　勇一	松田　智美
地域課題		・ＪＲ北陸線田中踏切の段差改修、拡張 ・下水道終末処理場の最終整備の姿と時期 ・新型インフルエンザへの対応状況 ・うるおい館建設の効果 ・入善スマートＩＣ周辺の交通量増加	・災害の危機管理 ・災害時の対応 ・防犯の強化 ・高齢福祉 ・子育て支援 ・少子化対策 ・吉原海岸の保全 ・ゴミだしのマナー ・ゴミ出しの減量化
出席者	三　役	町長 副町長 教育長	町長 教育長
	課　長	総務課長 企画財政課長 建設下水道課長 健康福祉課長 農水商工課長 住民環境課長 議会事務局長	総務課長 企画財政課長 建設下水道課長 健康福祉課長 農水商工課長 住民環境課長 教育委員会事務局長 消防署長
	議　員	五十里　隆章 大橋　美椰子	元島　正隆 中瀬　範幸
	事務局	財政係長 企画調整係長 企画調整係	財政係長 企画調整係長 企画調整係
参加者数		135 人	71 人
世 帯 数		2302 世帯	971 世帯

日		11 月 16（月）	11 月 10 日（火）
地　　区		青　木	飯　野
開催場所		働く婦人の家	農村環境改善センター
区長会長		川原　満秋	石川　昭男
司　　会		杉澤　一郎	島倉　與志貴
座　　長		木本　桂春	島倉　與志貴
地域課題		・高齢者用運動公園の設置 ・地産地消・自給率 80%の町（日本一若者が住みたい町入善） ・学童（上青小）通学路の安全、安心性向上 ・各地区内、各地区間の連絡、情報ネットワークづくり	・飯野地区全体の中心的拠点施設である農村環境改善センターの全面改修 ・農村環境改善センターの周辺整備について ・北陸新幹線の開業、国道８号バイパスの全線開通に併せた、まちづくり
出席者	三　役	町長 副町長 教育長	町長 教育長
	課　長	総務課長 企画財政課長 建設下水道課長 健康福祉課長 農水商工課長（代理） 教育委員会事務局 みらーれＴＶ所長	総務課長 企画財政課長 建設下水道課長 健康福祉課長 農水商工課長 教育委員会事務局長
	議　員	松澤　孝浩	山下　勇 長田　武志 笹島　春人
	事務局	財政係長 企画調整係長 企画調整係	財政係長 企画調整係長 企画調整係
参加者数		40 人	72 人
世 帯 数		562 世帯	1574 世帯

<table>
<tr><td colspan="2">日</td><td>10 月 29 日（木）</td><td>11 月 5 日（木）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地　　区</td><td>小摺戸</td><td>新　屋</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td>小摺戸公民館</td><td>新屋公民館</td></tr>
<tr><td colspan="2">区長会長</td><td>松島　唯志</td><td>上林　宏</td></tr>
<tr><td colspan="2">司　　会</td><td>舟根　隆一</td><td>宮腰　明範</td></tr>
<tr><td colspan="2">座　　長</td><td>舟根　隆一</td><td>坪野　和夫</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域課題</td><td>・統合保育所周辺の整備について
・統合保育所整備後の小摺戸保育所の利用計画
・地下水位低下の抑止策</td><td>・教育・子育て
・農地の保全
・安全・安心、心のケア</td></tr>
<tr><td rowspan="4">出席者</td><td>三　役</td><td>町長
副町長
教育長</td><td>町長
副町長
教育長</td></tr>
<tr><td>課　長</td><td>総務課長
企画財政課長
建設下水道課長
健康福祉課長
住民環境課長
農水商工課長
教育委員会事務局長</td><td>総務課長
企画財政課長
建設下水道課長
健康福祉課長
農水商工課長
会計課長
税務課長
教育委員会事務局長</td></tr>
<tr><td>議　員</td><td>鬼原　征彦</td><td>鬼原　征彦</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td>財政係長
企画調整係長
企画調整係</td><td>財政係長
企画調整係長
企画調整係</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加者数</td><td>41 人</td><td>113 人</td></tr>
<tr><td colspan="2">世 帯 数</td><td>400 世帯</td><td>545 世帯</td></tr>
</table>

日		12月2日（水）	11月9日（月）
地　　区		椚　山	横　山
開催場所		椚山公民館	横山漁村センター
区長会長		上田　俊男	佐藤　嘉一
司　　会		西嶋　克己	尾田　勝昭
座　　長		上田　俊男	尾田　勝昭
地域課題		・少子高齢化と福祉のあり方について ・町の各種団体活動の活性化策について（ケーブルＴＶ特集など） ・安心な環境づくりについて ・安心な通学環境について ・公共用地にある立ち木の枝伐採後の始末について	・地区中核施設「漁村センター」のリニューアル ・ウオーキングコース横山「シーライン」の設置 ・通学路の整備促進
出席者	三　役	町長 副町長 教育長	町長 副町長 教育長
	課　長	総務課長 企画財政課長 建設下水道課長（代理） 健康福祉課長 住民環境課長 農水商工課長 教育委員会事務局長	総務課長 企画財政課長 建設下水道課長 健康福祉課長 教育委員会事務局長
	議　員	谷口　一男	松田　俊弘 佐藤　一仁
	事務局	財政係長 企画調整係長 企画調整係	財政係長 企画調整係長 企画調整係
参加者数		63人	88人
世 帯 数		772世帯	551世帯

<table>
<tr><td colspan="2">日</td><td>11 月 13 日（金）</td><td>12 月 3 日（木）</td></tr>
<tr><td colspan="2">地　　区</td><td>舟　見</td><td>野　中</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td>舟見コミュニティ公民館</td><td>農村婦人の家</td></tr>
<tr><td colspan="2">区長会長</td><td>愛場　巖</td><td>水野　日登志</td></tr>
<tr><td colspan="2">司　　会</td><td>勝島　洋一郎</td><td>酒井　良博</td></tr>
<tr><td colspan="2">座　　長</td><td>勝島　洋一郎</td><td>水野　日登志</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域課題</td><td>・舟見地区活性化対策
・安心安全なまちづくり（耐震化施設の確保）
・観光資源の有効活用</td><td>・舟見中学校統合問題
・安全、安心のまちづくり
・生活・環境の改善</td></tr>
<tr><td rowspan="4">出席者</td><td>三　役</td><td>町長
副町長
教育長</td><td>町長
副町長
教育長</td></tr>
<tr><td>課　長</td><td>総務課長
企画財政課長
建設下水道課長
健康福祉課長
農水商工課長
教育委員会事務局長</td><td>総務課長
企画財政課長
建設下水道課長
健康福祉課長
住民環境課長
農水商工課長
教育委員会事務局長
消防署長</td></tr>
<tr><td>議　員</td><td>九里　郁子
野島　浩</td><td>九里　郁子
野島　浩</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td>財政係長
企画調整係長
企画調整係</td><td>財政係長
企画調整係長
企画調整係</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加者数</td><td>51 人</td><td>58 人</td></tr>
<tr><td colspan="2">世 帯 数</td><td>444 世帯</td><td>227 世帯</td></tr>
</table>

新総合計画について

入善地区

日時：平成21年12月1日（火）

会場：うるおい館・イベントホール

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉

現在、新総合計画については、策定作業を進めている最中です。そのために、住民の皆様を対象とし住民意識調査を行いました。この調査につきましては、住民のみなさまのニーズや満足度、また、まちづくりの意見などを調査し、総合計画策定のための基礎資料とすることになっており、町全体 8,727 世帯を対象に７月～８月にかけて実施をしてきたところです。

有効回答数につきましては、4,103 人、有効回答率が 47%となっており、大変多くの方々にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。この回答者の年代、性別の内訳ですが、男性の回答は 2,568 人で 62.6%、女性の回答が 1,535 人で 37.4%となっております。年代別に見ると 50 代の方々の割合が非常に多くなっており、30 代 250 人、40 代 481 人からの回答があり、住民意識調査とすれば十分な回答があるものと理解しております。

調査結果ですが、入善町の良い点、魅力ということについて質問をしまして、グラフに書いてあるとおりです。

一番多かったのは、水が豊富で美味しい。二番目、海産物が豊富で美味しい。三番目が安全で安心して暮らせることができる。四番目が自然豊で四季折々の美しさがある。これについては 10 年前に同じ調査をしていまして、この時の一位、二位、三位が、今の４つの内、水、海産物、自然が豊富と一緒になっており、10 年前と変わらずこの町の資源がしっかり保持されている結果になっています。ただ、三位で前回と違うのが、安全で安心して暮らせることができることが評価されているとなっていまして、今時代が求めている安全、安心という環境がこの入善町にはあるということです。

次に、入善町の問題点ということでお聞きしています。大きく４つのことが分かるかと考えており、多いものとして「高齢者のみの世帯が増えている。」「少子・高齢化が進んでいる。」「家族の介護に対する不安。」「医療施設サービスが十分ではない。」ということで、高齢化していることとそれに伴う問題点ということが、上位にあがってきました。

その次の「働く場所が少ない。」「晩婚化が進んでいる。」「若者が町外へ流出している。」ということで、少子化の原因になっていることを問題点とされる方が、その次のところで多くなっています。次のところでは「賑わいが足りない。」「地域活動に参加する人が少ない。」という少子・高齢化に伴う活力の低下というものが大きな問題だとあげられる方が多くなっています。

ただ一方で災害や、犯罪などに対する不安というのが比較的小さくなっていると感じられます。この前の質問でお聞きした、安全・安心が３位に入ったということと非常に整合のある結果になっていると感じています。

次に、今後も入善町に住み続けたいかという質問です。今の地区に住み続けたいという方が 83.3%という数になっております。町内の別の場所を含めると約９割の方々が今後も入善町でという結果になっています。これにつきましては、前回同じ調査を 10 年前に調査しており、この時よりも、今の地区で住み続けたいという回答数では 4.8 ポイント上昇している結

果になっています。この質問を年代別に見てみると、20 代の方で 66.7%の方が、30 代の方でも 77.1%、40 代で 74.5%と高い数値になっております。

次に、入善町に対するイメージということでお聞きしております。「そう思う」と「やや思う」という回答を合わせた数値でいくと、美しい町であるが 60.4%、豊かな町であるが 44.4%となっております。良い点と共通するのかなと感じます。右側の表ですが、これについては、町が行っている施策のうち 51 項目についてその満足度、重要度を５段階で評価していただきました。その結果を重要度を縦軸にとり、満足度を横軸として、51 項目の施策が四分割された図のどこに位置するかを示す分布図になっています。

重要度が高く、満足度が低い場所が、今後町が力を入れて取り組む項目であり、医療の充実、雇用の確保、高齢者福祉、企業誘致という結果になっています。

重要度が高く、満足度の高い場所が今後維持をしていくものとして、リサイクル、消防・救急、水資源の保全となっています。

重要度が高くなく、満足度がわりと高いものとして道路整備があります。重要度が高くなく、しかし満足度も高くないものは状況を見ながら取り組みたい項目として、今後これらをしっかりと組み合わせながら、重要度が高く、満足度の低いものに対しては満足度が高くなるよう、施策を今後行っていきたいです。

男女の差には大きな変化はなく、年代別に見ると 30 代などは福祉、子育て支援の重要度が高い以外、同じような傾向を示しています。

今報告をしたのは、ほんの一部で他にもたくさんの質問をしております。現在詳細な分析をしている最中ですが、現在直面している少子高齢化社会に対する不安が色濃く反映されています。

一方、水、米、海産物など入善町にある地域資源、安全・安心で暮らせる環境が今後地域資源として活かしていくべきものです。

今後はさらに色々な調査、ワークショップ、まちづくり懇談会など随時開催をし、様々な機会を通して町民の皆様のご意見も聞きながら、新総合計画の策定に望んでいきたいと考えています。

☆住民

今の入善町の現状を見ると、電気はついていてもお客さんがいません。旧商工会の跡地を利用してテントをたくさん用意し、もっと農家の方が野菜などを定期的に販売できるようにして欲しいです。

★町長

朝市などは、うるおい館を利用してやっていただければと思います。

☆住民

うるおい館では面積が狭いです。町内の別々の場所で行うより、大きな建物で行ってほしいです。

★町長

町でとれたものを地元で消費するようにしていきたいです。みＪＡな穂さんと十分に話をして取り組みたいです。

★企画財政課長

地産地消の朝市について、地元でとれた野菜、魚などを販売するスペースを設けた方が良いのではという点についてですが、そういった話題はテレビ等でも取り上げられておりますし、平成 23 年から始まる新しい総合計画の中で、地産地消をどのように地域活性化に結びつけるのか大事な課題ですので検討し、努力をしていきたいです。

議題Ⅱ「入善地区設定のテーマ」

（１）JR 北陸線田中踏切の段差改修、拡張について
（２）下水道終末処理場の最終整備の姿と時期について

☆住民

田中踏切についてです。少し広めの踏切ですが、最近は交通量が増えており、段差によるでこぼこが大きく、自転車や小さい車はバウンドし大変です。過去に転倒した人もおり、早く段差を解消してもらうようＪＲに申し入れてほしいです。

踏切は朝・夕と混雑し渋滞も起きます。人、車、自転車が一度に渡るとなると危険なので、もう少し拡張をしてＪＲの方で歩道を設置できるくらい拡げてもらうよう申し入れをして欲しいです。

入善町の下水道処理場が工事をされていますが、工事が終わってから広い土地を利用して公園などに整備をして、みんなが憩い集う場にすると聞いています。今後いつどのように整備をされるのか確認をさせていただきたい。

★建設下水道課長

ＪＲの踏み切りは、ＪＲ西日本で管理をしています。入善町には、沿線に合わせ十数ヶ所の踏み切りがあります。特に田中の踏切は過去から問題が出てきており、常に意識をしています。ただ拡張となると他の踏切廃止などの条件があり、近隣の踏切等の廃止、縮小について利用者からは「廃止をしないで欲しい」という逆の要望も出てきます。ただ、でこぼこの改修については、ＪＲの方に要望をしていきたいです。

朝・夕交通の混雑時の歩行者、車の安全面から、歩道の設置については、踏切をはさむ両方向とも県道であり、踏切拡張となると県道の拡幅からとなります。地権者の方、地元の方のご協力なしには前に進まないという状況もあり、1 つ 1 つクリアをして改良できるものは、県などに要望をしながら対応をしていきたいです。今後いくつかの計画を町として持っていますが、1 つ行うにも億単位の多くの金額が必要です。田中の踏み切りは優先的にどのように対応をしていくかを検討し、取り組んでいきたいです。

☆住民

ＪＲの都合もあると思いますが、良くなる為に町当局として何をしてくれるのかを考えて欲しいです。

★建設下水道課長

踏み切りの段差については、積極的にＪＲに働きかけをしていきたいです。踏切だけの歩道は難しいことから、県道の拡幅を要望していきたいです。

★副町長

国は新しい政権に変わっておりますし、計画については今後の成り行きを見ながら上田県議と相談をしながら行っていきたい。

★建設下水道課長

下水道処理場については、平成 11 年から工事に着手し、平成 13 年には処理場の運転を開始しており、処理場への流入水量の増加に伴い増設工事をこれまで行ってきたところです。

処理場の計画は、汚染を処理するためのオキシデーションディッチという水槽を６池建設する予定計画で、現在４池まで完成しております。

残りの２池については、来年度から着工し、平成 24 年度には土木・建設工事が完成する予定で以降は機械・電気工事が残るが、処理場の外観は完成の形となるため、平成 25 年度に最終的な場内整備を行う計画である。その状況を見て全体の整備、場内の整備をしていきたいです。今風車が回っており、近辺は危険な部分なので、安全面も考えながらどのような形でやればいいのか今後も検討をしていきたい。

処理場内でパークゴルフを盛んにやっていただいています。平成 20 年度で約 8,500 人、今年の 11 月で利用者は１万人を超えました。今度、風車の会が五十里議員を中心に設立をしていただき管理を行っています。今後それらを含めて利用者の方の意見を十分に尊重をしながら、今後どのような形で整備すれば良いか地元の方も含め、今後の整備計画を立てていきたいです。平成 25 年度までに概ねの計画は出来上がるものと思います。

（３）新型インフルエンザへの対応状況の確認について

☆住民

現在新型インフルエンザが大変流行しており、小さなお子さんをお持ちのご家庭、高齢者のお宅では、不安や心配をしておられると思います。入善町として、ワクチンの準備状況、医療機関受付けの対応、予防接種開始時期と優先順位、接種への助成があるのかをお聞きしたいです。

★健康福祉課長

県内では８月下旬からインフルエンザの流行が始まり、先日「警報レベル」となりました。感染した患者の割合は高校生以下が８割で、残念ながら入善町においても保育所、小学校、高校で学級閉鎖になっています。

ご質問のワクチンについては、国が一括して製造メーカから買い上げ、各県に配布し、県が各医療機関へ配送をしています。各市町村が独自で購入することはできず、国が計画的に配布している状況です。

入善町の医療機関での接種については、広報等でお知らせをしておりますが、川瀬医院、宝田医院、谷川柚木医院、中川医院、新田眼科、野島医院、山本クリニック、米沢医院となっており、こちらで予約をお願いします。

もしインフルエンザかなと思われたら、現在、最寄りの医院や病院などで受診できますが、感染予防のため、事前に電話をして受診時間を確認してから受診されるようお願いをしています。

優先順位については、一番早いのが医療従事者の方、今受けられるのは心臓病や糖尿病などの基礎疾患がある方、医師から早めの接種を判断された方で１歳から中学生の方、高校生の年齢に相当する方、妊婦の方、１歳から小学校就学前で基礎疾患の無い方、小学生１年から３年生の方が 11 月から予防接種を受けています。12 月４日からは、高校生の年齢に相当する方で基礎疾患のある方が接種できます。それ以外の１歳未満児の保護者の方、小学生４年生から小学校６年生の方、65 歳以上の方については、接種開始時期は未定であり、決まればケーブルＴＶ、その他でお知らせしますので注意をして欲しいです。

予防接種に対し助成があるのかについて、国では生活保護者の方、町・県民税がかからないご家庭の方に助成をしています。それ以外の方については１回目 3,600 円の負担となります。回数については子供２回、あるいは 65 歳以上１回とありますが変更される可能性もあり、報道等にご注意いただきたいです。

（４）うるおい館建設の効果について

☆住民

うるおい館は完成してから約 1 年半経つと思いますが、建設されてからの利用状況はどうなっているのでしょうか。今後のうるおい館としての新しい企画をされているのかをあわせてお伺いしたい。

★農水商工課長

昨年４月 12 日にオープンして以来、大勢の方に様々な形でご利用をいただいており、中心街の活性化や賑わいの創出に大きく寄与しているものと考えております。

利用者数については平成 20 年度では 10 万人を超え、建設時に国に提出した市街地再生整備計画の中での目標７万７千人を大きく超えています。利用においても、サークル活動のみならずパーティや若者ライブ、イベントの実施など非常に多岐にわたりご利用をいただいています。今後も利用しやすい施設として一層工夫をして参りたいです。商工会で行っているイベントのまつりんピック、ラーメン祭り等もあわせて、うるおい館を利用するような工夫をしてお互い相乗効果で活性化をしていきたいと思います。

駐車場についても、花月公園横の駐車場の整備が本年度内に完了するものであり、また中央駐車場についても商工会館跡地の整備を進めています。商店街並びにうるおい館の駐車場としてご利用いただきたいです。もっと効果が上がるよう新総合計画の中で工夫をしていきたいで

す。

☆住民

今後、今まで以上の人を集めるような新しい企画は考えておられますでしょうか。

★農水商工課長

今の段階では言えませんが総合計画の中で、大いに活用をできるものを考えています。

（５）入善スマートＩＣ周辺の交通量増加について

☆住民

スマートＩＣが開通してから交通量が増えておりますが、県道入善宇奈月線について質問します。

①交通量の調査の実施予定はありますでしょうか。

②従来の道路のまま開通しましたが、道路の拡幅の実施予定はありますでしょうか。

③歩道が途中までしか設置されていません。歩道の整備及び除雪の実施予定はありますでしょうか。

★建設下水道課長

県道は５年に１回の割合で交通量調査を行っております。前回は平成 17 年に行っており、その時の平日 12 時間交通量（７：00～19：00）は 3,096 台でした。スマートＩＣ完成後（H19.７月）の交通量調査はまだされていません。次回は平成 22 年度の予定です。スマートＩＣの利用台数は現在、上下合わせて１日あたり約 1,200 台となっています。来年３月までには通算 100 万台見込めると推計しています。

道路の拡幅については、新屋は整備中ですがそれ以外の区間は拡幅の予定は今のところありませんが、スマートＩＣへの交通も増えると想定されることから、県に対して要望を働きかけていきたいです。

歩道の整備についても、現在の道路幅を広げることになることから、地権者の理解と協力が必要になります。地元としてまとまった上で県に対して要望を働きかけていきたいです。

県道の除雪は県土木が実施します。スマートＩＣ内の除雪は町が業者に委託をして、24 時間体制で積雪があればすぐに作業できるよう対応していきたいです。

○その他

☆住民

武村福祉会館の跡地について、中央再生広場ができて、新しい道路も間もなくできると思います。住民アンケートのゴミの軽減化の大切さが身について、入善地区の利用が増えてくると思います。心配なのは、交通の流れが今までと変わることです。観音寺から郵便局へ出る道は狭いところと広いところがあります。通学路として利用をしている入善小学校の児童も多いです。歩道も設置されていません。

観音寺から野田歯科医院の四差路については、今でも車で通る時に気をつけなければいけませんが、今後ますますその様な状況が出てくると思います。今度道路についての計画はありますでしょうか。もし無ければ歩道の設置、拡幅をお願いします。

★建設下水道課長

花月公園で、駐車場の整備をしています。当初は街中のイベント時に駐車場が不足をしていることから、できるだけ市街地の中に多くの車を停める駐車場を整備ができないかと現在、中央通り線から町道観音寺線まで町道を整備しております。ただ通常、駐車場を利用する方は西川自転車から進入して、車を止めて街中へ来られる方の利用が多いことと、町内のイベント時の対応として迂回路を設置させていただきました。今後、中央再生広場が近々オープンして状況を見ながら、今後の整備について考えさせて欲しいです。

また道路を拡幅して欲しいという意見と、現状のままでいい、道路が広がることにより危険度が増すという意見もあります。今後の動向を見て地元の方々の協力は必要なので検討、協議をしながら整備をしていきたいです。

☆住民

コスモホールの使用料を安くして欲しいです。

音響無しの使用料だけで９万円ぐらいかかります。教育委員会の後援として３割引になっての使用料です。

次に、入善町の芸能祭への出演に関しては、公民館活動をしていなくてはならないことと、コスモホールで歌手などの公演があり、前座を務めた場合、出演できないと聞いたことがあります。芸能祭への出演の考え方を見直してほしいです。

★教育長

コスモホールの使用料については、教育委員会では後援という形で３割引、共催という形で５割引、主催するという形では全額町で負担をすることになっています。団体の方が練習を重ねてその成果を発表する場合、町の共催ということで５割引ですので、担当者にご相談いただければと思います。ただある程度施設の維持管理をする必要もありますので、ご理解をお願いします。

★総務課長

以前コスモホールにおりました関係で、使用料については、近隣と比べても安いと思います。芸能祭に出演ができなくなったことについては、調査をさせて下さい。

☆住民

高瀬の湧水公園ですが、無料の水を汲みに富山市、上市、糸魚川市などからも来られます。もっと規模を大きくして、わさび田をつくるとお金をかけずに効果があると思います。

★農水商工課長

今ほどの意見は今後参考にさせていただき、総合計画の中にも取り入れていきたいです。

☆住民

入善８区のごみ収集日の変更希望（燃えないごみ）

毎月第２週に燃やせないゴミ（ビニプラ類）を収集しないため、第３週目の収集日に２週分が排出される。ゴミの回収日になるとゴミステーションが満タンになり、カラスが喜んで来てゴミを散らかします。特に郵便局前、入善中学校辺りに一番ゴミがあります。第２の粗大ゴミの日、月曜日か金曜日の日に１回、回収をしてほしいです。

入善町でも３Ｒということでリデュース、リユース、リサイクルが盛んになっており、いかにゴミを少なく出す方法を町では今後考えておられるのでしょうか。

上田地区にある再生広場の撤去を再度検討してほしいです。

中央再生広場が 12 月 21 日にオープンします。臨時の上田地区にある再生広場の撤去ということですが、私ども入善地区区長会の中では、昨年から２ヶ所にしてくださいとのことでした。入善地区の所帯数は 2,300 あります。他の５地区（野中、小摺戸、舟見、横山、青木）は合わせても入善地区より少ないのに、どうして２ヶ所の設置ができないのでしょうか。

★住民環境課長

ゴミ収集日の変更について、ごみの処理場は新川広域圏の２市２町で運営をしています。集めたゴミは、新川広域圏の中の処理体制で処理されており、例えばビニプラ類の日、粗大ゴミの日も２市２町で試行錯誤しながら、今の状態が最善の形だということでこれまでやってきました。しかし、ライフスタイルの変化に伴いごみの種類なども変化をしてきています。２市２町の枠組みを変えることができるのかが問題であり、入善町だけが考えても歯車が合わないので、そういう問題が広域圏全体であるならば、真剣に考える問題だと思っていますので、課題として検討したいと考えています。

３Ｒの件ですが、町は以前から、ゴミの減量化について取り組んでいます。地球の温暖化も最近叫ばれています。新政権の鳩山内閣においても、温室効果ガスの 25%カットという大きな計画をもっている中で、世界の中の日本、日本の中の富山県、富山県の中の入善町として、目標に対しどのように取り組んでいくか、これから真剣に取り組むべき大きな問題だと思います。町長のあいさつにもありましたが、地球温暖化防止について取り組んでいるわけですが、地球温暖化対策地域推進計画を平成 21 年度の中で、有識者を含めて策定する予定です。その中で今後のゴミの減量化、温暖化防止について皆さんのご意見等も踏まえ考えていきます。その中で国、企業、国民（住民）ができることで、いろいろ分かれてくると思いますが、私達この環境行政を預かる者とすれば、町民の方々に無理なく、継続的にゴミの減量化や地球の温暖化防止にどのように取り組んでいくかを分かりやすく、これからも説明をさせていただいて、環境保全、ゴミの減量化に努めたいと思っています。

再生広場の件ですが、基本的には町では各小学校下１箇所での、常設型資源ゴミ収集ステーションを設置してきています。12 月 21 日（月）から、市街地に中央再生広場をオープンさせます。今しばらくは収集体制の状況を見据えた上で、どうあるべきかを考えていきたいです。

町民のリサイクル意識が高まって、中央再生広場のストック状況がいつもいっぱいでカゴから出た状況がほとんどだとなれば、リサイクル施設の増設という話にもなると思います。オープンしてからしばらく見守りたいと思いますのでご協力、ご理解をいただきたいです。

☆住民

今後はゴミが溢れ出ないように、町の方で考えていただきたいです。

★住民環境課長

ビニプラ類は、宮沢清掃センターでは中間処理で熱を通してゴミの体積を 1/10 にして、埋め立てをしています。家庭でもゴミをそのまま出すのではなく、出す時にぐるぐるねじって、出せば今よりも半分、1/3 になるような取り組みもあると思いますのでご理解をいただきたいです。

☆住民

そのようなゴミの体積を少なくして出す方法を、もっと町の方から広報等でどんどん住民にＰＲをして徹底をして欲しいです。

新総合計画について

上原地区

日時：平成21年11月30日（月）

会場：産業展示会館

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民

資料にあるように水が豊富で美味しいは、企業誘致にしてもメリットです。１つ疑問に思うのは、水博物館構想について県がさじを投げたようで、入善町と黒部市が互いに綱引きをして、黒部市は新幹線が開通すれば駅で水博物館をすると、入善町では黒部扇状地研究所が堂々と看板をあげてやっておられます。財政の厳しい時に新たな箱ものを造るのは無しにして、今ある施設を有効に使用し、黒部市へ先制攻撃をかける必要があるのではと思います。町長の構想をお願いしたいです。

★町長

水博物館について、かなり前から町の方や広域圏の方で取り組んでいましたが、先ほども言われましたが県の方では、おそらく建物についてはやらないと思います。広域圏の方でも黒部市は、新幹線の駅の近くに是非やらせていただきたいという話が出ています。

ただ来年の水博物館については、県からの予算がどうなるのか、その時に町としていろいろと取り組んできたことに対し、どのような形でするのかなど結論を出さないといけないと思います。

議題Ⅱ「上原地区設定のテーマ」

（１）防災・防犯の視点から

- 災害の危機管理
- 災害時の対応
- 防犯の強化

☆住民

災害の危機管理についてですが、昨年芦崎地区で高波災害がありました。上原地区では大きな災害が無いが、いつ台風や地震が起こるのか分からないのが災害です。その時に住民の皆さんは災害に対し、どこまで怖さを感じているのか意識が低いのではと感じています。子供達の自転車でも社会ルールがありますが、片手で乗ったり、傘差し、携帯電話をしながら乗ったり、これも１つ間違えれば大きな交通事故等につながる恐れがあります。

私達は何をすればよいのか、昨年までは防災などに対する取り組みとして、町の方で研修会があったようですが、今も引き続き行ってもらい、若い世代の方にそういった部分を浸透させる運動があれば、一人では何もできないが皆が集まれば出来るのではないかと考えています。町の方からも指導をお願いしたいです。

災害時の対応について、上原地区では高齢化が進んでおり、声かけ運動を町の 1 つの取り組みとして考えて欲しいです。災害が起きた時に住民の意識が芽生えると思います。地区での防災リーダーをつくるためにも、町の方から応援をお願いしたいと思います。

防犯の強化について、近年様々な国の人が町に在籍をしており、言葉を聞いても分かりません。彼らが夜間、自転車に乗り大声を出しては徘徊をすることで近くの住民は何事かと大変不安に思います。その不安を解消する為に、雇用側の企業からモラルを教育してもらい、それを町からも働きかけて欲しいです。

鍵かけについて、知り合いの方がきららの里で車上盗難に遭いました。いつもは鍵をかけているのに忘れてしまい、お金を持っていかれたということです。家でもそうですが、車も鍵をかけましょうと鍵かけ運動を町のモットーにして、計画の中に組み入れて欲しいです。車上盗難があった場合には、注意を呼びかける放送を流して欲しいです。

災害時の避難場所を知らない人がいると思うので、避難場所を確認できる看板の設置をお願いします。

（２）高齢福祉・子育て支援・少子化対策の視点から

- **高齢福祉**
- **子育て支援**
- **防犯の強化**

☆住民

婦人会から、高齢者福祉と子育て支援の２つの視点から発言させていただきます。最初に高齢者福祉について２点。高齢者介護について、入善町の高齢化率は 28.2%で今や高齢や介護は地域の深刻な課題です。入善町には現在、おあしす新川、寿楽苑、こぶしの庭の 3 つの介護施設がありますが、いずれも入所は長期待機であり、介護は在宅の方向にあります。しかし在宅介護は、家族の負担が多くストレスが大きく限界があり、「見て欲しい時に頼れる所が欲しい。」「うららのような小規模施設があれば良い」等の要望の声が聞かれます。町、町民が一体となって地域で支える社会づくりに努めるとともに、介護対策を新総合計画に位置付けていただきたいと思います。

２点目は、交通安全対策とのらんマイ・カーの利用についてです。11 月 18 日（水）夜、上原地区内で高齢者の死亡事故が発生しました。私達婦人会は 11 月 14 日（土）、子供、高齢者世帯の交通安全訪問の出発式を終え、訪問実施の期間中のことで大変ショックでした。「交通安全は家庭から」をスローガンに交通ルールの順守やシートベルト、チャイルドシート、反射材の着用など、きめ細かい呼びかけで子供から高齢者までの交通安全意識の高揚と実践に努めています。しかし、高齢者の事故が後を絶ちません。高齢者の事故防止策の面から、のらんマイ・カーの利用しやすい経路の見直し、さらには増発、また交通手段がない人への配慮、高齢者の運転免許返上にともなう代替サービスとしてタクシー券の配布などについてご検討ください。

次に子育て支援について、男女共に働き方が多様化し核家族化してきていること、それ以上に地域のつながりが希薄化してきていることに伴い、地域の子育て力の低下が指摘されており、地域ぐるみで子育て家庭を見守り、子供が安心して活動できる環境が必要となってきています。特に放課後の子供の居場所づくりですが、外で遊びたわむれる子供の姿があまり見られないの

が気がかりです。たくましく心豊な子供の育成の観点から、友達と一緒に自然に関わることが必要だと思いますが、子供達の実態はどうなるのでしょうか。私達婦人会はサポーター養成講座を開催し地域における子育て支援の一環としてボランティア、人材育成にも努め、子供見守り隊の輪を広げていきたいと今、努力中です。

男性の参加を歓迎します。女性の就業率の高い県、町にあって家事、育児、介護の男性の参加はまだ少なく、多くは女性が担っているのが現状です。安心して子供を産み育てることができるよう、ノー残業デーの実施や育児休業について法令を順守、短時間勤務制度やフレックスタイムの拡充、子供の看護のための休暇制度など、男女問わず活用できる社会の就業制度の環境づくりを行政から企業に働きかけていただけないでしょうか。

（３）環境保全から

☆住民

海岸、防潮林などへの不法投棄が目立っています。また海岸への漂流物が多くあります。吉原地区では、年２回海岸清掃を行っていますが量が多く地区だけではやっていけません。また町でのＰＲや看板の設置、パトロールの強化などの対応が必要です。また、年１回町全体で海岸清掃デーなどを開催して入善町の海岸をきれいにして欲しいです。

２点目はゴミ出しのマナーについて、指定日を間違えてゴミを出す人が多いので、区長が非常に苦労をしています。そこで、ゴミ袋に地区名と名前を表記すればどうでしょうか。黒部市では現在行われており、効果は出ていると聞いています。町の考えを聞かせてください。

３点目はゴミの減量化について、ゴミを多く出すと地球温暖化の原因にもなり処分の費用も多くかかるので、ゴミを分別して出し、極力減量化に努め個人の意識を高めるとともに、町でＰＲをして欲しいです。

★総務課長

防災、防犯の視点から、防災体制の強化には、行政や消防など防災関係機関の体制整備が必要なことはもちろんですが、特に災害の発生直後や芦崎の高波災害のような大規模災害時には防災関係機関の初動体制が間に合わず、あるいは著しく制限されることが予想されます。地域の住民の方が自分達の地域は地域で守るという自主的な考えをもとに、自主的な防災活動を行うことが必要不可欠であると考えています。災害時に備えた体制整備、防災訓練などの活動を積み重ねていくことが必要になります。減災の観点から「自助」「共助」の果たす役割が極めてて大きいものと考えております。入善町では県下でも、いち早く全地区で自主防災会が組織化されており、毎年、自主防災会を主体とした防災訓練を小学校区ごとに実施しています。平成22年度は、上原、青木地区を対象にして行う予定です。ぜひ防災訓練に住民の方が参加していただき、防災意識の向上を図っていただければと思います。今年行った防災訓練ですが、県の防災訓練として、椚山・横山地区で行いました。地震、高波等を想定した訓練で、自主防災会において内容的には安否確認、避難場所までの避難訓練など実践に即した実働訓練をしました。上原地区の区長さんも事前に視察に来ていただいています。それぞれ定期的に自主防災訓練ということで、消防ポンプ等の運転、救助などの講習会を行っている自主防災会もあります。自主防災会組織リーダーについては、県主催の自主防災組織リーダー養成研修会へ積極的な参加

を勧めています。上原地区では平成 14 年に自主防災会が結成されており、他の活動事例を参考にしたり、自主防災アドバイザー派遣制度が県にあります。町などが実施する出前講座などを通して、平常時に防災意識の向上を図っていただきたいです。

また町では、災害時に被害を最小限に食い止めるため、身近な地域の中で避難場所や一時避難地、例えば地区の公民館や神社など、防災について話し合う機会を作ることを目的に「わがまち災害安心カード」事業を実施していますので、当地区区長さんと共に普及をしながら、各家庭において活用されれば防災意識もさらに高まるものと思います。

防犯の強化について、入善町では外国人の方が非常に多いです。登録人数は現在約 440 名、上原地区では約 100 名と入善地区に次いで多いです。私も夜間コンビニへ行った時、外国人を見かけます。未然に犯罪を防ぐ立場から、地区における火の用心など、夜警の際に強化をするのも 1 つで、12 月に入ると、全地区にお願いをしている自主防犯パトロール隊の防犯活動の出発式が 10 日に始まり、地区でも防犯活動に入ってもらいます。消防団、警察も年末警戒を師走に予定しています。地区、町、警察などの関係機関あげての防犯活動が有効と感じています。雇い入れ側の企業へは、地元の要望をお伝えしながら、できるだけ日本人に合ったようなマナーを守っていただくようなことも機会があれば積極的に申し入れたいと思います。

★健康福祉課長

高齢福祉について、老人施設に長い間待機をしているとのご指摘がありましたが、現在、要介護３～５で認定された方で施設に入所できない方が、現在入善町には 60 名おられます。１人の方が何箇所も申し込みが出来るので、幾つも施設を申し込んでいる方を調整した、純粋に待機している方の数字です。それよりも介護度が低い方では、もう少し数が増えてくると思っております。入善町、朝日町、黒部市の新川地域介護保険組合では、特別養護老人ホームなどの施設の整備率が高く、国・県では整備のスピードを緩めているのが現状で、介護保険組合と協議をしながら、地域密着型の「うらら」のような小規模施設を順次整備していこうと進めています。明日、認知症の方が入所されるグループホームが開所されます。こういう形で施設の整備を進めておりますのでご理解をいただきたいです。このような施設になかなか入所できず、ご家族の方の介護が難しい場合、こういった施設の中での例えば、ショートステイなどのサービスをできるだけ利用していただければと思います。高齢者の元気な一人暮らしの方は、入善町で約 770 名、上原地区で 73 名おられます。この方々については地域の皆さん、民生委員の方、高齢福祉推進委員の方々が中心となり、それぞれの一人暮らしの方を見守り、サポートしていただいています。特に社会福祉協議会などが中心となり、ケアネットチームを作り、一人暮らしの方を複数の人で見守り、支援する活動を展開しています。

例えば一人暮らしの方、ご飯も自分で作れない方には配給サービスを利用いただいたり、万一の時に見守っていただいている地域の方と連絡ができるような緊急通報装置を貸し出して、普段から近所の見守りで「自助」「共助」の「共助」の部分でいろいろ手伝いをしていただいています。

また地域の中で閉じこもらない、引きこもらないということで、地域の中で活動を広げていただこうと、いきいきサロンという地区の公民館を利用して高齢者の方に集まってもらい、そういった活動をやっていただいていますが、上原地区では 11 のサロンで年間 120 回近く活動を

していただいています。出前講座等も利用していただき、例えば保健師を呼んでいただければ軽い体操をしたり、介護予防の活動をすることもできます。ぜひご利用いただければと思います。

★教育委員会事務局長

たくましく自然の中で関わらせる子供達の実態はどうかとありましたが、基本的に私は学校が終われば、外で遊ぶのが一番良いのではないかと思います。昔は寺、神社、公園、自然の中でおもいっきり友達と缶けり、ビー玉遊び、地面とり等をして一生懸命に遊び、親に「早く家に入りなさい」と言われるまで外で遊んだ思い出があります。しかし時代が変わり最近子供達は兄弟も少なくなり、近所に子供達がなかなか居ない地域もあり、子供達自身が遊ぶにも人数が少なく、取り巻く環境も大きく変わってきました。子供の遊ぶ内容も変わってきており、家の中でパソコン、インターネット、テレビゲームなど個人で遊ぶことに熱中して、外で遊ぶ子供の姿をあまり見ないのが実態です。地域の方および保護者の方にお願いしたいのが、ぜひそういう方を見受けたら注意をして外で遊ぶように声を大にして言っていただくよう、協力していただければ子供達も大きく成長できると思います。

★農水商工課長

のらんマイ・カーについて、現在一台が運行のメインとしてあります。本数や路線が限られており大変ご迷惑をかけている状態です。バスの台数を増やすことによって、便数や路線の増加など利便性が向上し、より気軽にご利用いただけるのではと考えられます。やはり採算性の観点など総合的に判断すると、なかなか増やせないのが現状です。しかし町民の交通の利便性確保は非常に大きな問題です。タクシーの代替券の話など色々ありましたが、どのような形が良いのか十分検討し対応していきたいと思います。

もう一点子育て支援に関連して、企業への育児・介護休暇などについて働きかけをして欲しいということについて、会社には育児や介護に関する法律が制定されており、男女とも子育てをしながら働き続けることができる雇用環境を整備するために、今年の７月に法改正がありました。当然、法律で取り決めがありますが現状では会社は厳しい環境にあります。

育児休暇、介護休暇のための勤務時間短縮の制度も法改正をされています。今、私のところでは町内の主な企業の状況は不景気で相当厳しい状態で、会社の状況ついて訪問を定期的にさせてもらっております。育児・介護休業法が変わり大変厳しい状況だと思いますが、子どもがいる方、高齢者がいる方、介護をされている方への勤めがもっと楽になるようにと要望をしていきたいと思います。

★住民環境課長

環境保全について吉原海岸保全について町では不法投棄の防止のため、環境保全監視員が 42 名おられます。上原地区には５名の方がおられ、不法投棄の防止、海岸パトロール等にご協力をいただき、漂流物などの所在などについて情報をいただいております。海岸については国の直轄海岸であり、国の管理となりますが、国の入善海岸出張所では、一般ゴミとして町での処分をお願いをしております。その際には住民の方のご協力をお願いしたいです。大きな漂流物

や木などは、重機を投入するという事例となれば国で協議をするというお話もいただいています。国と町と連絡を密にして環境保全に努めたいと考えています。不法投棄防止の啓発用看板の設置について、町では看板を幾つか持っていますので、地区でご要望があれば住民環境課に言ってください。

毎年５月 30 日をごみゼロの日として、クリーンアップ入善を定期的に行っています。今年も５月 30 日の近くの日曜日に全町をあげて、住民の約３分の１の方にご協力をいただきました。「自助」「共助」ということで環境、美化、環境保全に取り組みたいと思います。

２点目のゴミ出しマナーについて、マナーや指定日の間違えなどは故意的なのか、知らずに出しているのかで多少違うと思いますが、もし知らずに出している場合は広報、ケーブルＴＶ、出前講座を通して住民の方々にゴミの出し方の徹底を図るのが必要だと思います。各地区には、環境保健衛生員が１名ずつおられます。町の環境行政を地区に浸透させる役割がありますので、ご協力をいただきながらゴミの適正なマナー、出し方の徹底をと考えています。

次に黒部市、朝日町ではゴミ袋に名前を書いていることについて、以前から地区名を書くことは必須的な用件としているわけですが、５年前にすでに小摺戸地区では自発的に名前を書いて出しているところもありました。地区が出すゴミについて、ゴミを廃棄する責任をその方がある程度持つという意識だったと思います。それでも上手くいかない場合、地区で検討して、記名をするという方法がとられたと思います。全部の地区に行政の方から名前を書いてゴミを出すようにとすると、プライバシーなどの問題があり、記入する、しないに関しては、地区で合意されて実施をして欲しいと思います。

３点目のゴミ出しの減量化について、省資源、省エネルギーの観点からもゴミ自体の減量化を図ろうと以前から取り組んでいるところです。過去の経緯を見ると燃えるゴミ、燃えないゴミ合わせて１年間で約９千トンのレベルで推移しており、横ばいとなっています。しかし、ゴミを減らす考えですのでゴミの出し方については、ゴミになるような物は買わない。３Ｒの中のリユースという考え方を持って取り組みたいと思います。ゴミの出し方、リサイクル、地球温暖化防止については今年で２年目の環境フェアの中で、住民、企業、行政がどのような役割を果たすのかを住民の皆さんに啓発を行ってきました。冒頭の町長の話から、地球温暖化対策地域推進計画を作成中とありましたが、今年度中に皆さんのご協力をいただきながら策定していきたいと考えています。

生ゴミ処理機の設置補助という制度も活用していただきながら地球温暖化防止、ゴミの減量化にこれからも努めていきたいと考えています。

☆住民

公園の木が非常に育ってしまい、誰も遊ばない公園となってしまいました。子供にも気持ち悪くて遊ばせられないとのことです。今年、当番の下上野地区が清掃して「きれいになった」と言われたが、大変労力がかかり区長さんも大変でした。夜高校生が影で悪いことをしていると言われたこともありましたので、考えていただきたいと思います。桜、松以外切ってほしいと思います。また交通事故も度々あり、公園の地面を少し道路に譲って広くしてほしいと思います。

★建設下水道課長

私も生まれてから上原におりまして、保育所、小学校の時から、松、桜の木、池を見てきた私にとっては故郷であり、木を全部切るのは乱暴かと思います。公園には地元で記念碑などを設置しました。皆さんと一緒に管理もしてきたことから、木がうっそうとしているところは、今後地域の皆さんと一緒に管理人も含め、もう一度話をして要望があれば町としても協力をしますし、整備の方はしていきたいと思っています。皆さんのご協力をお願いします。

☆住民

この周辺は昔からとても落雷の多い所です。今年の春頃には、学校に雷が落ち、８号線のアンダーで水没まではいきませんでしたが、車４台に被害が出ました。朝の通学・通勤の時間帯で私の知人も被害に遭い、前の車の人が一人でドアが開けられない状況になりました。幸い人身事故にならずに済んだということでした。この辺は私の小さい時からよく落雷があり、私の家にも雷が落ちたことがありました。議員さんに「どうしてこんなに雷が落ちるのか」と訪ねたところ、北陸電力へ聞いてもらい、地下水の関係でこの辺は電気を誘導しやすい地区で、雷が落ちてポンプが止まったりする可能性が十分にあるということが分かりました。安全上、災害の観点から考えていただきたい。

★建設下水道課長

実際、昨年アンダーのところで冠水があり、車が傷んだり皆さんにはご迷惑をおかけしました。安全・安心の分野から、上青小学校から青木へ向かうアンダー、上野４区から道市へ向かうアンダー、西入善駅から上がった東狐地区内にも一箇所アンダーがあります。そのようなところを整備して、ポンプが止まり、冠水した時「通行止め」と、ある程度水が溜まったら「通行注意」をする表示を両方向から見えるようにしたいです。そのような状況になった場合、町の方にも情報として 24 時間流れるようにして、すぐ通行止めができるような体制作りのため、その情報が消防署、担当者にも 24 時間情報がメールで案内がくるような対応にしたいです。

町の方にも画面で表示が常時見ることができるよう、カメラの設置を今年度中に整備をする予定となっており、少しでも安心な部分を地域の皆さんに提供したいと考えていますのでよろしくお願いします。

○その他

☆住民

今後地上デジタル化の放送になる時に、町で補助を検討し、新総合計画の中に盛り込まれるのか教えて欲しいです。

★企画財政課長

地上デジタル化について、町では個人で地デジ対応のテレビを買ってもらうか、チューナーを用意してもらうことを考えています。ケーブルＴＶについて、みらーれＴＶでは、ケーブルＴＶを使用した地デジということで、最終的にアナログテレビの方々についてどうするのかま

だ決めかねているようです。

　どうしても生活が厳しい場合、国でチューナーを買うための助成制度があります。これは全国的な話で、かつ総務省が早くから取り組んでいる事業なので町の単独での補助制度は今のところ考えていませんので、ご理解をいただきたいと思います。

新総合計画について

青木地区

日時：平成21年11月16日（月）

会場：働く婦人の家

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民

現在高齢者を抱えています。政権が変わり病院や施設等どのようになるか不安です。教えてください。

★健康福祉課長

現実的に、今政府がどのように高齢者の社会福祉政策を変えていくのか、はっきりとまだ分からない状態です。特に言われていたのが、後期高齢者の医療制度をやめるという話について、民主党のマニュフェストが発表されていますが、いつやめるかは、はっきりしていません。おそらく４年ぐらいはかかると思いますので、しばらくは今のままだと思います。

高齢者の施設については、基本的には大きな特別養護老人施設はできなくなると思います。現在地域密着型で、小さな施設の整備に変わっているので当分はこの方向だろうと県の方も判断しています。

☆住民

地方自治とは自分達で何かをする訳で、国から何かしてくれるから、やろうということではないと思います。これから入善町はどうしていくのかを教えて欲しいです。

★副町長

地方自治体は自主財源が限られており、ほとんどが国に依存しています。税金をあげるかサービスを落とすかそういう中で、新政権がどのように動くのかも分かりません。どのような答えが出るか分からない中で、町が国にお願いをしているのは、住民サービスをこのまま継続して「自助」「共助」の部分で、やっていきたいと考えています。

☆住民

私も昨年の新エネルギービジョン策定委員会に参加しました。いろいろと発言をした事が、町政として幾つか反映されている現実を見て、非常に勇気づけられます。太陽光などの自然エネルギーの活用に対し、国、町から助成金を出してもらうことになりました。このような政策はとても現実味がありますので、どんどんやってほしいです。やはり長期ビジョンをしっかりと立てることが大事だと思います。軌道修正をしながら、また町民の意見を聞きながらできればいいと思います。

今、入善町は人口が減少しており、特に若者が少ないです。魅力ある町であれば、若者が定着すると思いますし、入善町には豊かな水、様々な資源がありますので、企業が誘致に応えてくれると思います。現在の総合計画でインターネットなど、情報基盤整備をやっていくとした

ことは、とても良かったと思います。

光フレッツは、入善町は活用出来ないが、黒部市では活用できます。富山県内においても地域格差があります。住民や誘致されてくる企業にとっても足りない所があり、少し魅力に欠け良くないです。

前の総合計画にもありましたが企業誘致、新しいことをする人、事業・企業を支援しますとあります。今年はもっと力をいれるべきです。これが魅力ある町づくりにもなります。是非このような要望を今後の総合計画のビジョンに盛り込んでほしいです。

今ビジョン作りに直接参加できる人、そうでない人がいますが町民の声を反映して欲しいと思います。今、町のホームページに新総合計画を設けていただき、それに対する意見を聞く窓口を作ってほしいです。

★企画財政課長

新総合計画に対する新エネルギー、少子・高齢化の問題、若者の減少、魅力ある町づくりということで、先ほど企画調整係長から説明があったように課題と考えています。総合計画策定の進め方として町民の方に代表となってもらい審議委員会を開催しました。さらに住民意識調査、小・中学校で行ったワークショップで子供達の意見を聞いたり、20 代、30 代の若者、約 20 に名集まってもらい、３回ほどワークショップを行い、提言をいただいています。それらを実現するためには、どのような政策が必要かを今から一年かけて検討を行います。意識調査だけではなく、新総合計画のまちづくりに対する窓口については、ホームページ等で受付けができるよう検討したいです。

☆住民

今後の少子化の問題などについても、財政が問題だと思います。次の時代に借金を残すと、次の世代がもっとひどいと思います。財政についてもっと聞かせてください。

★企画財政課長

県下の市町村の財政状況ですが、平成 20 年度の決算でいくと公債負担率については、入善町は富山県内でも上位の２位です。減債基金についても２位～３位です。
財政的には裕福ではない町ですが、県内でも１番～３番目の財政状況が良好な状況です。

議題Ⅱ「青木地区設定のテーマについて」

☆住民

以前、テーマに入る前に過去数年、あいまいな回答が多いため、せめて昨年の地区テーマを具体的に説明してもらうよう区長会から申し入れました。学童保育の設置についてと高齢化に向けてについてです。まず学童保育についてお願いします。

★教育委員会事務局長

学童保育については、昨年のまちづくり懇談会の中でいろいろとお話をしました。飯野小学校、桃李小学校など４箇所で学童保育が開設されております。これらの地区では学校が終わって家に帰っても誰も居ない鍵っ子家庭が比較的多く、地元の要望があり開設された経緯があります。

今年２月に健康福祉課で次世代育成に関するニーズ調査を実施し、その中で学童保育について、どのくらいニーズがあるのか調査を行ったところです。学童保育を利用したいかを上青小学校の１年生、２年生の保護者の方 55 名から回答があり、利用したいという方が 25 名、利用予定がないという方が 30 名でした。青木保育所５歳児の保護者からは、21 名の回答があり、利用したいという方が 11 名、利用予定がないという方が 10 名でした。利用したいという方は 36 名で、47％の回答率でした。利用予定がないが 40 名で、53％の回答率で、半数の人が利用を希望しておられます。

現在、学童保育を行っている飯野小学校、桃李小学校については、区長会長、公民館長、婦人会長、民生児童委員、小学校ＰＴＡ会長、保育所の保護者会の会長、小学校校長、保育所所長など、関係団体の方にお世話をいただき、地元の方で学童保育運営委員会を組織いただいています。町も加わり、指導に当たる指導員の確保、保育についての運営方法、場所など具体的なことを協議して、それらの見通しが立った上で開設に至っております。昨年開設の要望があり、今年２月のアンケート結果が出た段階で町の方で区長さんに地元の運営委員の組織などについて、話をこちらから働きかけをすれば良かったと思っています。

こちらの方のお願いですが区長さん方に、地元の方々に呼びかけていただき、町からも加わり具体的に話し合いの場を持たせていただきたいと思います。

☆住民

協議の場を持つのは、具体的にいつでしょうか。

★教育委員会事務局長

地元の関係者の方、区長会長さんに集まっていただき、地区の学童保育をどうするかについて、具体的に話合わないと前に進まないと思うので、皆さんに話し合っていただいたのち、町との協議の場を持ちたいと思います。

☆住民（座長）

高齢者の暮らしを町が応援をしていくことについて、入善町で力を入れてやっておられることを具体的にお願いします。

★健康福祉課長

高齢者の生きがい対策として老人クラブ、働く場として人材センターへの支援をしています。老人クラブについては 58 クラブあり、会員数は約 5,400 名で加入率は約 65%です。平成 20 年度で約 160 万円の補助をしています。シルバー人材センターへは町が補助を支出しています。生きがいサロンについてはサロン数が 61 団体あり、運営委託として約 160 万円支出をしています。介護予防に対する教室も実施しています。

☆住民（座長）

もっと入善町として、特徴のあるものを１つ教えてください。

★健康福祉課長

いきいきサロンを 61 団体やっており、介護予防教室を独自でやっております。

（１）高齢者用運動公園の設置について

☆住民

来年の 12 月 31 日で福寿会の方が使っている川原運動公園が利用できなくなります。高齢者の人は近くの運動公園が良いと利用をしていました。町として運動公園を造っていただけないでしょうか。高齢者対策として生きがい、健康のために是非造って欲しいのでお願いします。

（２）地産地消・自給率 80%の町（日本一若者が住みたい町入善）

☆住民

日本一若者が住みたい町を目指そうということについて、少子化対策は一向にされていないと思います。今、若者が少なく子供がどんどん減ってきており、限界集落に陥るのは目に見えています。手を打たなくてはならず、若者を入善町に住んでもらうにはどうするか、Ｕターンの人を増やす等、都会の人に来てもらうための、きれいな水など、いろいろな資源があります。おいしい食べ物もあり、たとえば地産地消 100%という形にできないでしょうか。

入善町産を入善町で消費しようと農家の人に話すと、スーパーに持っていくと他から仕入れているとか、数量、規格の問題等があり、駄目だと言われました。たとえば本当においしいトマトを食べることができるＪＡのような市場を造り、朝仕入れたものが消費され、完売できるシステムにする。そのために農家、漁業、畜産等をまとめるコーディネーターが必要だと思います。そういう人材を育成しないと大きなシステムを作るのは難しいと思います。

食品の安全について、国産とありますが、よく見ると外国から輸入されたもの等があり、非常に危険です。コシヒカリと言いながらタイなどから輸入しているお米がたくさんあります。

入善町で捕れたゲンゲ、ニギス、ばい貝などは、東京から遊びに来た人はすごくおいしい、こんなの見たことないと言ってくれます。入善町の人には当たり前になっているが、こういう

ものをもっとＰＲし、若い人を入善に呼ぶことができないか、住居を提供するなど、さいわい富山県の住居率は高いです。立山連邦が見え景色も良いです。教育に関してもＯＢの人が関わって学童保育などをやって、特徴を出して戦略的に進める必要があると思います。目標を掲げ、入善町に住んだらこうなるよというふうにしないと、従来のものを延長線で考えていても何も変わらないと思います。10 年経ったら限界集落になって町が破綻とならないよう、ここで手を打って組織作りを是非やっていただきたいです。

（３）通学路の安全、安心性向上
（４）各地区内、各地区間の連絡、情報ネットワークづくりについて

☆住民

子どもの上青小学校への通学路の安全について、私も通学路に問題がないか目川から歩いてみました。往復５㎞近くありますが、児童にふさわしくない道路と判断をしました。県道青木吉原線の農免道路から海側に歩道が無く、交通量も８号線バイパスができてから大型トラックの交通量が増えています。さらに県道は田んぼとの高低差があり、児童にとっても危険な道路であると思います。ふさわしい道路の実現に向かって行ってもらいたいと思います。

２番目、各地区の情報ネットワークを作ってもらいたいです。有線放送で、各地区の家庭の連絡を行っていますが、大災害が起きた時、この有線放送は断線、停電が起こるとその機能が果たされないと思います。緊急災害時に対応できる連絡網を作って欲しいです。

★健康福祉課長

高齢者用運動公園については、老人福祉センターに屋内、屋外にゲートボール場があります。体育館、運動公園で競技・軽スポーツを、またパークゴルフについても、五十里、黒部川河川敷の青野で整備されてきています。健康保持の場として利用をしていただきたい。他の地区でも、地元でゲートボール場を利用しており、西島地区だけではなく入善町には 150 地区あり、全て整備をしていくのは難しい部分があります。

☆住民

今、言われた場所まで行けない人は、送り迎えをしてもらえるのでしょうか。

★企画財政課長

地区で用地を見つけてもらうことが先決かと思います。町のまちづくりの補助金も活用していただきたいです。町で用地を探すとなると難しい部分があると思います。

☆住民

町の方で、用地を探してもらえないでしょうか。

★企画財政課長

基本的には、いろいろなところで過去にゲートボール場を造ってきた経緯がありますが、用地については地元でご協力をいただいているのが実状です。町としては、できれば地区で皆さ

んが話し合いをして用地を探してもらいたいです。

★企画財政課長

若者の定着ということで、様々な面からご提言をいただいたところです。10 年間について、若者の定着を最重点に置くべき施策と考えています。今、地産地消の観点から自給率アップ、若者が定着できるまちづくりにすればどうかとありました。少子化は、日本全国の問題であり入善町でも、過去 300 人生まれていた子供の数が、200 人を切るようになりました。少子化対策を何もしていないわけではなく、保育体制の充実、医療費の無料化など、いろいろやってきました。また定住策として民間宅地開発地に、町外から来た人には多く補助金を出すなど、いろいろやってきましたが、言われたように子供の数は減ってきており、若者の定着をどのように図るかを今後様々な観点から、例えば企業誘致、住宅政策などと魅力ある地産地消などを組み合わせてやっていきたい。また小学生に故郷の魅力を伝えるべきではないか、そうすれば若者の定着にもつながるのではということも含め、新総合計画の中で若者の定着を目指してがんばっていきたいと思います。

☆住民

もう少し分かりやすくお願いします。

★企画財政課長

新総合計画の計画は、今作成中です。議会の議決ということもありますので、先程の説明でお願いします。

★総務課長

通学路の安全向上について、地元の交通安全協会、警察、道路管理者が毎年、危険個所の見回りをしています。ご指摘の交差点についても今年の春に行いました。去年も実施をしています。それをもとに入善警察署を通して公安委員会にお願いをしておりますが、今年度中に横断歩道が設置されるという報告がありました。

２点目、各地区内、各地区間の連絡、情報ネットワークづくりについて、現在の状況を説明させていただきます。有線放送設備は、災害時には断線し、地区との連絡が取れなくなる恐れがあるということで、ほとんどの自治体は災害時の情報は防災行政無線で行っており、入善町も昭和 61 年に整備をしております。また各家庭に個別受信機を、昨年は特に防災ラジオを３千円でご購入をいただいております。青木地区においても、200 台を超える申し込みをいただいており、世帯数から見ても約 42％のご家庭に個別受信できる体制ができたというデータになっています。

もう 1 つの方法で椚山地区、上原地区、新屋地区、飯野地区でＪＡみな穂さんの農事放送を行っており、その４地区に遠隔装置が置いてあります。

現在の防災無線はアナログで、今デジタル化に移行する段階を向かえており、費用なども高額になるので、各自治体がいつまでにデジタル化をするのか悩んでいます。入善町もこのアナログ方式で 25 年経過をする中で修繕をしながら行っています。デジタル化に向かう前に、現在

の行政無線設備をきちんと補修をしながら、災害時の対応をしていきたいです。その他の方法については基本的に、国のアンケートを見ても、だいたいが防災行政無線という伝達方法で、一方的な伝達方法となっています。これがデジタル化されると双方向性もできるとなっており、総合計画の中で、どのような位置付けになっていくのか我々のがんばりどころです。

地区での連絡方法は、災害時には非常に難しい部分があり、来年度 22 年度にそのことを含めた伝達網、情報収集を青木地区、上原地区で総合防災訓練という形で地区の自主防災会の方、住民の方を中心に入善町も取り組んでいく予定です。

また準備の段階でそれぞれ区長さん、自主防災会の方と協議をしながら、少しでも被害が少なくなるような減災、という形でと思っております。

☆住民

高齢化について、青野パークゴルフ場や働く婦人の家でのウォークベースボールに行けない人のために交通手段を確保して欲しいです。資料にもありましたが、バス等の公共交通手段が不便というのが 39.4%とありました。のらんマイ・カーがありますが、もう少し高齢者の生きがいを応援する意味でも高齢者対策を考えていただきたいです。

○その他

☆住民

入善は人口が減少しており、とくに三島地区では限界集落にあり、町長の言う「自助」「共助」は出来ないと思います。特に若者が減っています。入善町の５年後、10 年後はどうなるのか、どうしていけばよいのか町長の考えを聞かせて下さい。

★町長

愛する入善町のため、皆様方一人一人の町を思う気持ちがこれからも大事かと思います。そのことをこれからも思ってください。

新総合計画について

飯野地区

日時：平成21年11月10日（火）

会場：農村環境改善センター

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長
〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民
今回のアンケートを見る限り、④の入善町に対するイメージですが、一番目美しい町、次に豊かな町とありますが、特に有名な町かではそうは思わない。個性的な町かではそうは思わないという意見が多いと思います。質問したいのは有名ではない、個性的ではないという意見を排除するためには、商工観光的なものが必要だと思いますが、それについては、何か非常に足りない点があると思います。私もサービス業についていたとき入善町には舟見城か発電所美術館しか紹介しない感じです。今後商工観光的に何をどのように目指しているのか、このままでいいのか、どのように考えているのでしょうか。

★農水商工課長
入善町の色々な良いものをＰＲしていても、あまり知られていません。昨年、にいかわ観光圏ということで滑川市、魚津市、黒部市、入善町、朝日町の３市２町で提携をし、滞在型観光ということで、これからいろいろな事業を盛り込んでいこうとしています。特に東海北陸道ができてから、氷見まで観光に来ても、こちらまで来てもらえないことがあります。宿泊するところなら、宇奈月、バーデン明日があり、深層水、風車もあるので、新川地域として様々なこと「お宝発見」や「バスツアー」を企画しながら知ってもらおうと、単に入善町だけでなく３市２町のにいかわ観光圏全体で、もっと宣伝、企画をしていきたいと思います。これらについては新しい総合計画の中に盛り込んでいきたいと思います。

☆住民
私は仕事でよく砺波のチューリップフェアへ行くことがあります。入善町のチューリップ農家の中には、規模は小さいがそういうものをやってみたいという意見もあります。今年は総合体育館の近くでフラワーロード 2009 があり私も行きましたが、それを町と農家の方が協議をしながら、計画をしていただきたいと思います。

★農水商工課長
来年度のフラワーロードについては、場所はスマートインターチェンジ駐車場の山側に予定をしています。フラワーロードが始まってから 10 数年経ち、確かに少しマンネリ化してきております。そのことも含め、もっと皆さんに来ていただき農家の方と一緒に楽しんで体験ができるように少し変えていかなくてはと思っています。苦情や提案もいただいており、今ほどのご意見も参考にさせていただいて、来年から少しずつ変えていきたいと思います。来年は、写真コンテストを開き住民の皆さんから写真を募集し、いいものを再来年ポスターに載せるのはどうかとの案も出ております。

議題Ⅱ「飯野地区設定のテーマ」

（１）飯野地区全体の中心的拠点施設である農村環境改善センター全面改修について

☆住民

農村環境改善センターは飯野地区全体の中心的拠点施設であり、時代に即応した施設となるよう全面改修を要望します。

（２）農村環境改善センターの周辺整備について

☆住民

農村環境改善センター周辺を教育、福祉、環境の拠点として望ましい形態になるよう計画的構築を要望します。

☆住民

農村環境改善センターはかなり古くなっており、婦人会などで料理教室を行いたいのですが、今調理台が２台しかありません。小さく、かなり古くなっているので改修を要望します。またこの辺り一体を小学校、保育所、学童保育所、公民館と一体化したコミュニティ施設にして欲しいです。ある地域では学校、保育園、老人会の集まりがある施設があるそうで、そのような様々な世代間との交流の場となるようにして欲しいです。緑や花もたくさん植えたりすると地区の拠点として非常に活用されるのではないでしょうか。

★教育委員会事務局長

農村環境改善センターは昭和 51 年 10 月に建設され築後 33 年が経過し、その間、増築、改修を重ねるなど給排水をはじめ、施設全体の老朽化が進んでいます。またバリアフリーの問題、集会室が手狭である等の問題もあり、加えて耐震化もされておらず、地震などの災害時には緊急避難施設として対応が難しいのではないかと考えており、改修しなければならない時期だと思っています。

町には、同様の施設が４地区（飯野地区、舟見地区、野中地区、横山地区）あり、町の重要課題と思っています。先ほど、新総合計画の話もありましたが、その中で改修するということも位置づけまして、飯野地区の改修をどのようにしていくかを十分考え、最終的には地元の方々と十分協議を重ね、少子・高齢化、防災等、安全・安心が確保できる緑と花が溢れるような建物に改修していきたいと思います。

調理室につきましては、調理台の話は以前より要望が出ています。水回りが不便で、そば打ち等の活動が大変だということも聞いています。事務局でも確認をしましたので、早速 12 月の議会の補正予算で対応し、早急に改修をしたいと思います。

☆住民

具体的に時期はいつでしょうか。

★教育委員会事務局長

先ほども言いましたが、４つの地区に改修しなければならない建物がありますので、町全体の中で考え十分対応したいと思います。具体的な時期については、明言はできませんのでお願いします。

（３）北陸新幹線の開業、国道８号線バイパスの全線開通に併せた、まちづくりについて

☆住民

下飯野地区においてキャンプ場、海洋深層水パーク、アワビの養殖、企業では㈱ウーケなどがあり、これらは、ますます発展が望まれます。

北陸新幹線の開業、国道８号バイパスの全線開通に向けて

① 入善西部地区の土地利用計画に基づいた農業、工業、商業、漁業一体のまちづくりを推進していただきたい。例えば「道の駅」の新設など

② 海洋深層水を活用した企業誘致並びに、健康増進施設の設置を要望したい

③ 下新川海岸の高波対策を強化、防災林の整備、洪水対策など生活安全対策を要望したい

★農水商工課長

①について、入善西部地区は、「農村地域工業導入地区」があり、また「海洋深層水企業団地」として、入善の特性を活かした工場が立地しているなど、農工一体の町としての発展の中心を成してきています。交通網でも８号線バイパスに接し、平成 26 年に開通される北陸新幹線など交通基盤が充実している地区であり、さらにまとまった広大な農地があるなど、農業はもちろん、工場立地などの産業創出についても非常に魅力的な地域であると考えています。

工場誘致についても積極的に挑戦しており、農業、工業、商業、漁業一体のまちづくりの中心地区として推進したいです。

また、農商工連携事業や地産地消については重要であり、今後ますます必要であると考えており、その拠点となるべき、例えば「道の駅」や「特産品加工販売施設」などの整備についても新総合計画の策定の中で十分検討していきたいと考えています。

②について、平成 21 年より㈱ウーケというパックご飯の会社が操業を開始しており、現在、周辺土地の第２期整備について、いろいろ計画は進めていると思います。今後深層水を活用した企業用地についても、地元のみなさんと連携を取りながら積極的に進めていきたいと思います。健康増進施設についても海洋深層水施設やその周辺など全体の中で、どのように構想を練っていくのかが重要であり、新総合計画の中で検討をしたいと思います。

★建設下水道課長

③については、洪水対策、海岸保全対策は切っても切れない関係にあります。特に今、黒部川流域懇談会では黒部川の治水問題、土砂管理の問題、環境問題を話し合いながら、今後 30 年の整備の在り方を検討しています。また下新川海岸マスタープランで沿岸住民のみなさんからアンケートをいただき、その策定が進められ概要案が発表されています。このようなことから、高波災害、海岸保全、洪水については今後 30 年の計画の中で対策がなされるものと考えていま

す。その他、一番大事な防災林について現在、古黒部地区、横山・八幡地区は県の方で事業をやっていただいています。これらが終わり次第順次、神子沢地区、高瀬地区などに計画を進めていきたいと思い、県の方にも要望をしているところです。特に、県全体の海岸線防災林の整備状況ですが、入善町は県全体の半分以上事業をやっていただいています。

現在、地権者のみなさんにご協力をしてもらいながら、計画的に進んでいると考えています。今後、地元の地権者のみなさんのご協力もさることながら、整備後の維持管理を考えると地元のみなさんのご協力が不可欠です。事業が始まる時には地元の皆さんと協議をしながら対応していきたいと考えています。

★農水商工課長

昨年は、本当に皆様方にはご迷惑もおかけしましたが、お陰様をもちまして一定の災害復旧工事ができたところです。今年この後、漁港については250mを80ｃｍかさ上げする予定です。予定では㈱ウーケの横の方で災害用ブロック設置を考えています。ご迷惑をおかけしますがお願いします。

☆住民

町道平曽川国道線ですが、北陸新幹線が開通すると、まっすぐＪＲを横断すると聞いていましたが、どうなるのか、町の考えをお聞かせ下さい。また健康増進施設とキャンプ場を一体化したものにして欲しいですが、キャンプ場の周辺で野外ステージが傷んで危険です。駐車場の池や水銀灯が曲がって傷んでおり、直して欲しいです。町の考えをお聞かせください。

★建設下水道課長

町道平曽川国道線ですが、新幹線が開通するにあたり、在来線がどのような形になるのかということも今後の計画の中で大事な要素になると考えています。入善町市街地でも都市計画道路のＪＲ横断についてどうするかという協議も今後していかなければなりません。そういった中で町全体の道路網整備を、企業誘致など様々な観点から検討していく必要があると思います。何年かするとある程度の経営なども見えてくると思いますので、今一度計画を見直したいというのが今現在の思いです。

★農水商工課長

勤労青少年ホームは、耐震化はされていません。園家山キャンプ場と合わせ地元の皆様と話しをさせていただきたいと思います。

○その他

☆住民

ダチョウの小屋ですが新しく改築をしていただき、ありがとうございました。近く扇状地マラソンがあります。当時の米山町から預かったダチョウを、入善町も友好の証しとして大事にしていることを宮城県登米市から参加される方にぜひ案内して欲しいです。

★教育長

３週間ほど前から入善町でも新型インフルエンザが大流行しておりますが、これは入善町だけではなく、宮城県の登米市の方もこれ以上に猛威を振るっています。この扇状地マラソンに参加される子どもの内、２名が新型インフルエンザに感染したため、昨日登米市と町と話をしまして、来年以降も友好関係を続けようということで、今年は異常事態で残念ながら取りやめにさせていただきました。しかし昨年扇状地マラソンに参加した子供達がここのダチョウ園を見て、登米市のダチョウよりも恵まれた環境で飼われていると感心して帰られました。来年度以降もこの立派な施設を見ますと、それ以上に評価していただけるのではないでしょうか。日頃より、お世話をしていただき大変にご苦労様です。ありがとうございます。

☆住民

道沿いの田んぼに、タバコや空き缶が捨ててあり、ポイ捨て条例をもっとＰＲして欲しいです。

★健康福祉課長（前課長として答弁）

ポイ捨て条例でみなさんに、ゴミの不法投棄をお止めくださいとお願いをして、ＰＲをしてきていますが、例えば田んぼに空き缶が捨ててある事例だけではなく、これまでもゴミステーションの中に、燃えるゴミの収集日に空き缶が入っているという苦情も度々寄せられており、私達も様々な形でお願い、啓発活動をしてきましたが、もう一度皆様方にご協力をいただくような形でこれからもＰＲの活動をしていくようにしたいです。

またお子さんや、お孫さんそのほか地域の方々でポイ捨てがあれば、それぞれで注意をしてもらい、みんなでポイ捨てをやめようと申し合わせてもらえればと思います。

☆住民

入善町の魅力は水ですが、昔私達の頃は川水を飲んで育った思い出があります。今の子供達はそういった経験がありません。入善町の扇状地は水がきれいで有名です。故郷の思い出づくり、やがて子供の健全な成長のために戸外活動ができるよう、もっと水に重点を置いた考え方でやってもらいたいです。

★教育長

今は非常に信じられないような事件がいろいろ勃発しています。昨年から小学校１年生の保護者が６月から 11 月にかけて、学校給食を子供達と一緒に会食する授業があります。その中で 10 分ほど時間をおかりして、子ども達に将来に羽ばたく、たくましい心豊かな子供達に育ってもらいたいということで、まず１つは学校生活を楽しくということで、規則的な生活習慣を身に付けるために、朝ほぼ決まった時間に愛情のこもったご飯を食べさせてくださいとお願いをしました。

２つ目は、年齢にふさわしい体験を十分に積ませる必要があります。小さい時から自分の部屋に閉じこもり、ゲームをしているだけの生活で本当にいいのでしょうか。今のとんでもない事件を起こしている、大人でありながら幼い大人の人は、ゲームで大事な時期を過ごしていたケースが多いです。年齢に応じた体験を十分に積ませるためにも、日本は四季折々の変化にとんだ国であり、美しさもあり、厳しい冬を生き抜く動植物も目の当たりにすることもできます。ぜひ家の中に閉じこもる子供ではなく、外に出ていろいろな人や生き物、植物と関わり、情緒豊かな人間に育てるようにお父さん、お母さんにお願いをしているわけです。今言われたことは同感であり、私としても保護者や、地域にそういった部分を投げかけていきたいと思います。ぜひ１つご協力をお願いしたいと思います。

☆住民

養殖事業について当初町が４億円、その後平成 14 年から昨年まで約１億円のお金が投入されています。そのお金は税金です。そのことをみなさんにお知らせしたいと思い、話しをします。当初、養殖事業を起こす以前に、実は県漁連の方から８億円が２市３町にきて、そのうち５億円が町に、５億円の内、深層水事業に３億円、財政調整基金に２億円と振り分けされています。当初から町が投入した５億円と県漁連からいただいた５億円の関係と今後、毎年５百万円以上の赤字が続いている養殖事業に、これからも投資をされるのか、養殖事業だけ個人でやりたい人に受け渡した方が良いのではという気もしますし、深層水として、㈱ウーケもありそれは良いことですが、養殖事業については、なぜこれだけ投資をしても赤字続きで、これからもまだ税金を投入されるのかお尋ねします。

★農水商工課長

養殖事業につきましては、アワビ養殖を深層水でしております。水槽の水が上手く流れず、汚い水がそのまま一部残り滞留したため、多くのアワビが駄目になったということもありました。その後実験を行い死亡率も 10%以内になり、目途がたったと思いますので今後順調にいくものと思っています。販売などの関係もありますが、漁協でセールスの人も雇われたようであり、訪問等により販売の販路を拡大してもらい採算が取れるようになってほしいです。

☆住民

毎年、販路拡大、調査研究と言いながら、ずっと赤字です。平成 16 年に 600 万円、平成 17 年に 400 万円、平成 18 年に 900 万円、平成 19 年度に 450 万円、平成 20 年に 800 万円

とこんなに赤字が続いているのに、まだ税金を投入するのでしょうか。

★農水商工課長

赤字だから税金を投入するのではなく、実験を平成 19 年に行って、アワビがほとんど死ななくなったということで、それを今成功させようと町としても深層水と含めて PR に努めたいです。漁協の方でも販売拡大をしていきたいと言われており、そういう形で進めていきたいと思っています。

☆住民

漁協にある程度事業を任せているのに、どうして税金が投入されるのでしょうか。

★農水商工課長

今の整備が終わりましたら、漁協で進めていきます。施設の中の水槽に不都合がり、それに対し補助を出しましたが、今後は漁協さんの方でやっていきます。

☆住民

今後とはいつからでしょうか。

★農水商工課長

来年以降です。

☆住民

来年以降は、補助金は出さないということでしょうか。

★農水商工課長

アワビ事業そのものには出しません。深層水、アワビ養殖などもあわせて総合的に整備をしていきますのでお願いします。

新総合計画について

小摺戸地区

日時：平成21年10月29日（木）

会場：小摺戸公民館

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民

青野パークゴルフ場が今３コースありますが、もう１コースつくっていただきたいと思います。なぜかと言いますと、青野パークゴルフ場の場合、入場料・使用料はとっていません。他町村から結構、人数が多く来ておられ、１コースに 36 名来られるといっぱいになります。それが３コースしかないということは、約 100 名来られると精一杯です。なんとかもう１コース町の方でつくっていただきたいです。

体の都合の悪い人も来られるようになってから結構、健康になったと聞いております。それは、医療費等の面で町も多分助かっていると思いますのでお願いします。

★町長

この話は、私も直接聞いております。ただ河川敷の関係で、行うにしてもおそらく黒部河川事務所と話をしながら、まず借りなければいけないと思います。それさえできれば、今言われたように色々な面で高齢者の生きがい対策にもなり、先ほどの話にありますように、総合計画の中に十分に入れながら考えていきたいと思っております。できれば皆さんが思っておられるような方向性を持ってやっていきたいと思っております。

議題Ⅱ「小摺戸地区設定のテーマ」

（１）小摺戸、新屋の統合保育所の建設予定地周辺並びに、黒東小学校グラウンドの拡幅問題と通学道路網の整備計画について

（２）統合保育所建設後の小摺戸保育所の利用計画について

☆住民

保育所の統合問題については、２月上旬に前の区長会のみなさんが、町の方で説明を受けたと聞いています。保育所の問題が急浮上し、急遽、区長会を開き検討しているようです。３月下旬に町から来てもらい説明も受けております。７区、８区、９区を対象にさらに町の方から来てもらい、もう一度説明をしていただきました。保育所の統合で、建てて年数があまり経過していない保育所を壊すのか、どのように利用されるのか分かりませんが、新たな統合保育所の建設についてあまり考えていない人が多いです。と言うのは、年齢的な問題が１つあります。特にある程度の年齢で孫を見ている人達はもったいないとか、この建物がまだもつのではないか、小摺戸地区として、小摺戸保育所は不都合な点はなく公民館と有機的に結びついているという考え方もあります。

今、黒東小学校の予定されている、山手側南部コミュニティセンターの用地について、歩道

付きの道路がありますが、保育所の車の送り迎えを考えた時、今の道路では狭いという考えを持つのは当然だと思います。

保育所が新しく統合されると、今までの保育所と違った何かがあるのかどうか、少子化の波もよせていることから、将来的な１小学校下１保育所という考えについて今一度見解を述べていただければと思います。

先の黒東校下の体育会では、小摺戸・新屋両地区合わせて体育大会が行われています。フラワーセンター、南部コミュニティセンター、小学校は密接に結びついています。保育所の通所道路については順次整備されてきました。この保育所が移動することで、保護者が送り迎えする道路が変わっていきます。それを踏まえて整備をしてほしいと思います。

グラウンドは野球やソフトボール、特に野球の場合グラウンドは狭く、打ったボールが直接道路まで飛ぶ危険性もあります。授業時間の体育だけではありませんので、グラウンドは、あと 30m将来的に拡幅してもらいたいです。これは小摺戸地区、新屋地区の考え方でもあると考えています。

★健康福祉課長

統合保育所については、少子化の問題から保育園児、児童数の減少、保育に対する需要、求められるサービスの内容が多様化してきていますので、早急な保育所の環境整備が迫られています。

先ほどの区長会長さんの話にもありましたが、平成 17 年度に入善町保育所運営検討委員会の皆さま方から、町全体の保育所の整備を考えた場合、将来的には１小学校下１保育所として計画的に統合整備を図られるようにとのご提言を受けて、これまで老朽化してきた施設や小規模な保育所の統廃合をしています。最初の統合保育所がひばり野保育所です。

小摺戸保育所、新屋保育所は建築されてから 20 年余りですが、設備面でも傷みが目立ってきています。統合保育所につきましては、現在新しい保育所の基本構想を作成しています。育児相談ができる場、ふれ合いができる場をつくり、気軽に立ち寄れる保育所にしたいと考えています。

設計をしていく場合には、保護者の皆様、地元の皆様のご意見を参考にさせていただきながら進めていきたいと思います。保育所建設後は、車が多く通行するとのご指摘もありましたので、小学校児童の安全対策なども視野に入れ、保育所の廃止等を検討していきたいと思っています。

★教育委員会事務局長

昨年のまちづくり懇談会の席上、黒東小学校のグラウンドの状態が悪いというご指摘をいただき、今年度に入ってから表土を町の方で用意したところ、６月 20 日（土）にＰＴＡなど、保護者、消防団、地区の方々に１日がかりで勤労奉仕をしてもらい、地ならし、転圧等いろいろとやっていただきました。本当にありがとうございました。この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

今回のグラウンド拡張について、児童が安全・安心に運動できる場所でありまして、体育の授業や運動会を行うなど教育的にも重要な学校施設です。地域の方々にとっても、先ほどもお

話されました地区の運動会や防災訓練等に利用され、重要な場所であると思っています。

黒東小学校のグラウンドの面積は9,570㎡あります。児童一人当たりの面積に換算すると58㎡となっており、町内の小学校の平均の 49 ㎡を上回っています。運動場の面積は小学校の設置基準では、児童数１～240 人以下の場合、2,400 ㎡と基準がありますが、黒東小学校の児童数は、166 人で9,570㎡で基準から申しますと約４倍あります。

日頃、利用している児童の教育上の観点から見て、現在のところ現状の面積で適正であると思いますが、今ほどお話がありましたように、小学生児童の安全対策あるいは今後の統合保育所の建設場所などを考え、地元の皆さんと協議をしながらどうあるべきかを協議したいと思います。

★企画財政課長

来年度、統合保育所の建設となると、自動的に小摺戸保育所は平成 23 年度に閉所となります。小摺戸保育所は昭和62年に建築され、現在22年が経過しているが、町内の保育所においてわりと新しい方の保育所であると思っていますが、現場の方から水回りの設備面などで修繕等が増えている状況だと聞いています。

ご質問の、統合保育所建設後の小摺戸保育所の利用計画については、町として今のところ、明確な計画は決めていない状況です。ご要望にもありましたが、小摺戸公民館の使用状況それに伴う駐車場の使用状況、南部コミュニセンターの閉鎖に伴う影響について、検証しながらやっていきたいと思います。また再利用する場合の改修等の経費、さらに豆な海さんが利用しておられる小摺戸加工センターは上原の方へ移ると思います。それらの取り壊しも含めて小摺戸公民館周辺の整備を考えたいと思っています。現小摺戸保育所が閉所になった時、どう使用するかということですが、基本的には小摺戸地区の皆さんと再利用、あるいは取り壊しについても協議したいと考えています。地元で小摺戸保育所を他の用途で使用したいとなれば、経費も含めて運営や管理を地元でお願いしたいというのが今の町の考えです。統合保育所建設後の小摺戸保育所の利用計画について明確なものはなく、地区の方々と相談をさせていただきたいです。

☆住民

平成 23 年度までに統合保育所への道路網の整備、東側の整備は町単の予算でやっていると思いますが、統合保育所建設後、保護者が送り迎えをする道路網の整備はできるのでしょうか。もっといろいろな保育所関係の事業からのお金を使って保育所の環境整備、周辺整備をして欲しいです。小学校の通学時間や交通安全面も考えておられると思いますが、お願いします。

★企画財政課長

小摺戸地区全体の道路網の整備は、なかなか一度にはできないことはご理解をいただきたいと思います。まず町が始めることとして、黒東小学校前の道路に車が集中すると思いますので、その安全をどのように図っていくのかを十分に意を配していきたいと思っておりますが、子ども達の送り迎えをする道路を全て平成 23 年度までに整備することはなかなかできないと思います。

☆住民

小摺戸・中坪線については、平成 23 年度の保育所の閉所までに整備して欲しいです。統合保育所だけ先にできて、道路の整備が間に合わないのでは困ります。

★建設下水道課長

今年度、五差路から東へ向かって道路整備をしております。地元の方から、県道からもう１つ東まで継続して整備をしていただきたいという要望が出ております。逆に五差路から西に向かう部分もあり、一度に全部できるという訳ではございませんが、実際、地元の方から改良して欲しいとの要望が出ています。そういった所を継続して手掛けていきたいと思います。

今、ご意見がありましたように、交通の様々な状況、統合保育所建設に伴う小学校周辺の整備が必要なところがあります。その件については、今後優先順位を考えながら手掛けていきたいと考えています。

☆住民

国や県には色々な事業があると思います。全部の道路とは言いませんが、地区住民としては、今手掛けておられる道路について、統合保育所開所の平成 23 年度までに開通していただきたいと思います。

★副町長

五差路につきましては、来年まで整備ができると思いますが、それ以降の東側あるいは、先ほど区長会長さんが言われた、南部コミュニティセンター前の道路は、現在の道路構造令に合わないことも十分に分かっています。最後の挨拶で言おうと思っていましたが今、政権交代で国、いわゆるどこの方に影響が出るか分からないのが実態です。来年から子ども手当に５兆円いる、そして高速道路無料化という現状を見ていると、国交省関係の予算が減額されるのではと予想をしています。

町の方で今、県知事にお願いをしているのは、政権交代は期待する反面、まだまだ富山県、入善町では道路整備をしていかなければならない中で国交省の予算を少しでも取れるようにお願いをしていますが、現在のところ来年の予算編成自体、入善町だけではなく、富山県全体でもどのような組み方になるのか不透明な部分もあります。ただ新政権の方で、地方に負担をかけないように現在のところ期待しておりますので、早急に整備していただくよう、延長も早くやっていきたいと思います。しばらくは平成 23 年度の完了が難しいので、お願いしないといけない部分もあると思います。

（３）地価水位低下の抑止について

☆住民

最近、非常に水の使用量が生活様式の変化によって変わってきています。今の若い世代の方には学校へ行く前に、朝シャンをするという状況もあり、水に対する心配があると思います。この地区は現在ほとんどを地下水に依存しています。私が特に強く感じているのは、田んぼを掘って陸砂利を取ることにより、地下水の涵養が阻害されているのではないかということです。

また、それによって取った土砂を埋め戻すということですが、近くに陸砂利の現場があり、時々行って見ていますが、非常に疑わしい土が運ばれてきているのではないかと思います。役場の方では、埋立地をチェックされていると思いますが、そのチェック表も見せていただきたいと思います。

当地区の井戸は、陸砂利の現場から直線で 500 メートルもありません。どれだけの土が運ばれてきているのか何百万立法メートルになるのか、どれだけ掘られているのかも分かりません。今の現場を見ると地下水が湧き出ています。そういうことは許可されているのかどうか、また地下水の汚染についても心配しております。

小摺戸地区の交通量について、陸砂利を運ぶダンプカーが往復する沿線上に私の家があり、非常に悩んでいます。交通量が多く６月のある日には、ダンプカーが１分間に平均１台通ります。続けて５、６台来る時もあり、生活環境も悪いです。安心・安全に住める町の観点から、重量運搬する際には堤防の上を通行するようにしてもらえないでしょうか。

★農水商工課長

陸砂利採取につきましては、農地の一時転用の許可が必要です。陸砂利採取法に基づく砂利採取許可の２つがあり、いずれも県の許可であります。普通の農作業を休むことから、町に申請を出していただいて町が隣接者の承諾の有無、土地改良区の承諾の有無を確認した上で、農業委員会で審議し、県へ申請書を出して、県の方で転用許可を、業者の方は土木事務所に砂利の採取許可申請をして、県から砂利採取許可が出てくるということで、採取する陸砂利は陸砂利採取法と合わせて県でも規程をもっており、深さ、埋め戻しについては、有害な物質は入れてはならないという規程もございます。現場を巡回しておられると思いますが、町としても後ほど農地になるわけですので違法性の有無について、地元の農業委員会さんなどで巡回をしながら注意をしていきたいと思います。ダンプカーの騒音については、区長会長と業者の方でお話をしていただければと思っております。私の地区でも同様なことがあり、地区区長会と業者の方で話をして、いろいろな指導をしたりしています。

★企画財政課長

入善土木事務所の資料によると、県の土木部長から、各土木事務所長に通知した平成５年の文書に、掘削の深さは原則 10m以内とする、例外として地下水等の影響が無い場合は、15mまでという指導があります。

農地の埋め戻しについては、基本的には最初の着手前の農地と同程度以上の農地として使用できる適切なものであることが指導項目の中に入っています。もう１つ、地下水への影響がある場合、水位低下に十分配意するという指導がありますが、そのような状況が出た場合は直ちに作業の中止に入ります。被害防止の為の適切な処置をとってから行うということです。そういった指導が、県の土木部長から各土木事務所長の方に出ておりますので、もし不審な点があれば建設下水道課でも話を聞きますし、直接入善土木事務所に相談をされた方が業者指導も可能だと思います。

☆住民

地下水が徐々に低下していくことに対し、町として関心が無いように聞こえますが、地下水が低下することを私は心配しています。陸堀の掘削する基準はいろいろあると思いますが、一番心配をしているのは汚染と地下水の低下です。町は規則どおり掘っていれば良いというふうに見えますが、地下水低下することに対して何か考えておられる方策はありますか。

★住民環境課長

今、言われた内容について全く町が関係ないという訳ではございません。地下水の低下があったかは別にしても、地下水の観測という観点から黒部川流域では国土交通省の黒部河川事務所で 10 箇所の観測点をもっております。それから県が９箇所の観測点をもっております。毎年観測をしており、その観測の変化を見る限りでは、大きな変化は無いという状況が報告されています。その中で地下水の涵養につきましては、平成 19 年度に浦山新地内、平成 20 年度は小摺戸地内で耕作を終えた田んぼを使い、涵養実験を 10 月から 12 月末までの３ヶ月間実施しました。その結果、地下への浸透量は計算上から１㎡当たり、250ｔの水が地下に浸透しているという結果が出ています。しかし小摺戸地内は全国的に比較をしますと、浸透する地下水の量は他県よりも少し低いというデータも出ています。これは保水の高い圃場であることや用排水路の整備が大きく起因していると考えています。

地下水の創水という観点から見ると、耕作田の水張りは有効な手段の１つであると考えています。非かんがい期になると水利権などの課題もあり、いろいろな課題についても検討していく必要があると思います。名水の町として地下水が低下する、汚染されるということはあってはならないと思いますので、関係機関といろいろと話をさせていただきたいと考えております。

○その他

☆住民

防災無線ですが昔の有線放送が入り、切った状態になっているので宝のもちぐされになっています。防災システムとして役に立っていないのではないでしょうか。

★総務課長

農事放送の関係など聞いております。電波の関係もあり、自分の地区に関係ないと切られてしまうと防災無線の意味がなくなります。ラジオの方につきましては、ラジオを聞いていても、町の緊急情報は入ります。

町では説明会において、他の地区のお知らせが入るということも含め説明をしてお願いをしています。個別受信機にかわるものを安価で提供していると思うのでご理解をお願いします。

☆住民

今後、個別受信機の販売などの事業をする予定はありますか。

★総務課長

今でも販売はしており、個別受信機の方も販売をしております。

☆住民

周波数を変える事は、可能でしょうか。

★総務課長

周波数を変える事はできません。いろいろな情報が入るということでご理解願いたいです。

新総合計画について

新屋地区

日時：平成21年11月5日（木）

会場：新屋公民館

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民

ご意見・質問は無し

議題Ⅱ「新屋地区設定のテーマ」

（１）教育・子育てについて

①統合保育所の建設について

☆住民

新屋、小摺戸の統合保育所の建設について、お聞きします。現在、私達に知らされているのは、今年度、南部コミュニティセンター、フラワーセンターの取壊し、平成 22 年度は保育所の建設、平成 23 年の４月に開所予定ということで伺っていますが、今後のスケジュールをお聞きしたいと思います。特に建設にあたり、地区の皆さん、学校、ＰＴＡや保育所、保護者の皆さんの意見集約を行い、要望などを聞いた上で、建設に取りかかる予定なのかお聞かせ願いたいと思います。もし行うとすれば、いつ頃話し合いの場を持たれるのか、町当局のお考えをお聞かせ願います。

②黒東小学校グラウンドの拡張について

☆住民

黒東小学校は、黒東校下唯一の公共の施設であり、当然交流の場でもあります。毎年黒東校下で体育大会を実施していますが、グラウンドが狭すぎる状況の中、今年で 29 回を迎えた体育大会を小摺戸･新屋両地区で行っています。また少年野球の練習も行っていますが、以前からレフト側が狭すぎるということを聞いています。この機会にグラウンド拡張を考えて欲しいと思いますが、町当局の考えを聞かせて欲しいと思います。

③自校炊飯化について

☆住民

当地区として、黒東小学校自校炊飯を強調してきました。しかし残念ながら聞いてもらえず、実施されませんでした。今年の２学期から飯野小学校と共同炊飯が実施されていますが、統合保育所の建設にあたり、保育所と黒東小学校との共同炊飯が可能なのか、またその推進をお願いしたいと考えています。

すでに、ひばり野小学校、保育所で共同炊飯が実施されていますが、このような共同炊飯について町当局のお考えを聞かせてください。

④学童、保育所児の保育について

☆住民

学校、保育所の時間外、及び休日などの体制について、入善地区、飯野地区では、すでに学童保育が実施されていると聞いていますが山間地区では、まだ実施されていません。町当局はどのような考えなのかお伺いします。

★健康福祉課長

①については、平成 17 年度に町保育所運営検討委員会から「１小学校下１保育所」という基本方針のご提言を受け、小規模保育所などの年次的な統廃合に取り組んでいるところです。新屋保育所は建築が昭和 61 年、小摺戸保育所は昭和 62 年建築といずれも 20 年余り経過しており
施設設備の老朽化が進み改築という問題が目の前に来ています。

保育所の用地の問題、他の施設等との関連性など総合的に判断して、新屋、小摺戸保育所統合を計画したところです。統合保育所については、基本構想を作成中ですが、延長保育や、乳児保育への対応のほか、保護者の交流や育児相談の場、また高齢者と子どのたちとの交流の場として様々な機能を持たせた保育所にしていきたいです。

今年度中に基本設計・実施設計を行い、来年度で工事着工に入っていきたいと考えております。今後保護者の皆様や地元のご意見を伺いながら設計を進めたいです。統合保育所でも保育サービスを低下させることなく、きめ細かなサービスの提供に努めたいです。

★教育委員会事務局長

グラウンドの説明の前に、まずお礼を申し上げたいと思います。昨年のまちづくり懇談会の席上、グラウンドの状態が悪く使いやすくして欲しいということで、今年度に入り町で表土を用意し、６月 20 日（土）に保護ＰＴＡ保護者、消防団、地元の方々などの全面的な協力のもとに土運び、地ならし、転圧など勤労奉仕をしていただきまして、非常にきれいに改修することができました。この場をおかりして、厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

②につきましては、面積的には十分確保されていると思っています。今ほど地区の運動会、野球スポーツ少年団などで使いにくいという意見を伺いました。

今後保育所の建設に合わせ、車が多く通行すること、地域スポーツ振興、小学校児童の安全対策を行うことや将来的なグランドの拡張も視野に入れ、最善の方法となるように検討し、地元の方と協議したいと思います。

③につきましては、黒東小学校では今年度２学期から、飯野小学校から黒東小学校への配送を行っております。ＰＴＡなどから心配された学校給食の質の確保は、しっかりとなされており、また町の重点施策の一つでもある食育・地産地消についても、十分な配慮をして行っています。今後とも、安全で安心して食べられる学校給食を提供していきたいと思っています。

共同調理については、現在ひばり野保育所と小学校で実施しています。このケースのように、共同調理は調理場所が同一敷地内でないと認められないと決められています。今後、今ほどのお話を伺いまして、地域の皆様方と十分協議をして、より合理的な調理方式を検討していきたいと思います。

④につきましては、児童の放課後対策として、今現在、町内４箇所で学童保育を実施していま

す。町が今年２月に実施した次世代育成支援に関するニーズ調査では、「放課後児童クラブ、学童保育を利用しますか？」という質問に、黒東小学校１・２年生の児童 35 名から回答をいただきました。「利用したい」という方は 12 名、利用予定がないという方が 23 名。小摺戸・新屋保育所の方でも 5 歳児を対象に行いました。回答は 14 名中「利用したい」という方が９名、「利用する予定はない」という方は５名、小学校、保育所合わせて回答 49 名中、「利用したい」方が 21 名、「利用予定はない」が 28 名で、43%の方が利用したい。利用予定はない方が 57%で約５割の方が学童保育を利用したいという回答をしており、学童保育のニーズの高まりを感じています。

現在、学童保育を実施しています飯野、桃李小学校区では、地域の関係の方々で、運営委員会を立ち上げて開設に至っており、今後黒東小学校区において、実施することになれば前向きに町の方で協議していきたいと考えています。

☆住民

保育所の統合については、皆さん理解をしていると思いますが、先ほど学校給食の話が出ましたが、調理したものを飯野から配送されるということを、保育所側にも話をしてもらえると約束したと思います。それについては、いつ頃説明会などをしてもらえるのかお聞きしたいです。

★教育委員会事務局長

今年の５月の連休明けに、地区区長会の皆様方と懇談しました。その時に２学期から共同調理をするという話をしました。地域の方からなんとかならないかとの要望がありましたが、町当局の当初の計画に従って実施させて欲しいと言いまして、その後理解していただいたと思っています。ただ保育所の保護者会の方から特に接触がありませんでしたので、もしそういうことであれば大変申し訳なく思っています。

☆住民

グラウンドの件で、どれを基準にして十分な面積を確保しているかをお聞きしたいです。
各小学校のグラウンドを見ていますが、黒東小学校のグラウンドは狭く、野中小学校の旧グラウンドと変わりないくらいです。黒東小学校の野球の練習では、レフト側が狭く練習試合ができません。黒東小学校の生徒は他の小学校へ行って練習試合をするという状況です。

過去に照明が暗いとお願いをしたところ、一番明るいところを測って十分明るさを保っていると照明はつけてもらえませんでした。明るさは何を基準としているのでしょうか。

グラウンドには障害物があり、危険を感じています。小摺戸地区と合同で運動会を行っていますが、観客席が狭いです。木がありますが登って怪我をした人もいます。

★教育委員会事務局長

黒東小学校のグラウンドの面積は、9,570 ㎡で児童一人当たりの面積に換算すると 58 ㎡で、町内の小学校の平均である 49 ㎡を上回っています。

また、運動場の面積は小学校施設基準では、児童数が１人から 240 以下の場合、2,400 ㎡で黒東小学校の児童数は、166 人で 9,570 ㎡なので、約４倍の面積が基準からいいますとあります。

主に利用している児童の教育上の観点から見て、現在のところは、現状の面積は適正であると

考えています。

ただ例えば、野球をする時にレフト側が狭い、両地区の運動会で非常に狭く感じるなどについては、これから統合保育所の建設の問題と合わせてどのような方法が一番いいのか地元の方と十分協議をして、より良い方向にしていきたいと思っていますので、ご理解いただきたいと思います。

☆住民

現状では、基準から見ると４倍の面積があるとのことですが、今の 1/４で、運動会はできるのでしょうか。

★教育委員会事務局長

面積的に、どれだけあるのかと言われましたので、お答えしました。

地元からの要望に対して町の方から協議させていただき、より良い方向にしていきたいと思います。

（２）農地の保全について

☆住民

新屋地区は、水田の基盤整備が終わり、約 40 年経過しております。その中でも水田、農道などの陥没箇所が多く出ております。特に水田などにおきましては、その修復費用、特に地権者、が負担することは、大変な負担になっています。その費用負担に耐えられず、米作りをやめて、放棄田になるという話も出ており、入善町の美しい自然を残す、農地保全を図るためにも、町に修復費用の助成をお願いしたいです。町単独事業への取り組みを要望します。

★農水商工課長

基本的に農地、農道の陥没等にともなう町の助成にいては、現在、土地改良区と協議中です。町の基本的な考え方として、農地の陥没による補修、修繕等につきましては、個人の財産であります。こういったことから、土地改良区による町の補助対象事業として対象にはならないと考えています。ただし、農道や水路などの農業施設については公共性が高く、町か土地改良区のいずれかの管理者により、責任をもって修繕等の対応をすることになります。

しかし、入善町全体の農地の基盤整備は、事業終了後 40 年以上経過しているということもあり、今後は農地、農道の陥没や水路の漏水など様々な要因により多発する可能性があります。

そのことから整備時期や、事業内容等を勘案しながら、補助対象とするかいなか状況判断することも必要と考えています。早急に土地改良区と協議をした上で、それらに対応することも含めて今後の土地改良区の、町の単独補助事業のマニュアル作りに取り組みたいと考えていますのでしばらく時間をいただきたいです。

☆住民

陥没の話は、ここ２年ほど地域住民の陥没した地主さんから、なんとか改修工事をしてもらえないのかと要望が出ております。

土地改良区は、河川の改修、基盤整備をする補助金を国から借りているが、それ以外はどこからも補助金が出ないので、皆さんからお金を集めて改修をしています。改修できなければ放棄田となるだけです。町に放棄田にしないよう協力をお願いしたいです。

（３）安全・安心心のケアについて

☆住民

昨年滑川で行われた、男女参画新川ブロック大会のシンポジウムの中で、日本での自殺者の数が３万２千人強、富山 331 人、今年に入って富山県で 241 人、最近西入善で２件新聞に載りました。一人の女性から、富山県は一番自殺者が多いのに、その人達に役立つような活発な意見討議が無く、失望したとありました。

今日、説明いただきました施策に対する満足度、重要度とありましたが、その中の青少年育成、これ自体、低い重要度に扱っていますが、中・高生の自殺対応について伺いたいのですが、新総合計画の町民データを踏まえ、今後自殺者防止ケアネットの対策について、どのようなお考えを示されるのか、町当局の対応をお聞かせ願います。

★健康福祉課長

富山県が全国的に見ても、自殺者が多いということについては、今年６月、朝日新聞等で富山県の中でも、入善町が非常に多いと報道をされています。このことを踏まえ、入善町は本年、自殺を減らそうと、新たな取り組みを始めました。

特に自殺をされる方の原因は、健康の問題、経済的な問題等があります。こういった問題が引き金になり、うつ病になる方が多く、それが原因となって自殺というケースが非常に多いと言われています。

町では、うつ病についての講座を開き知識を深めていただいています。うつ病と関係が深いとされる不眠症に悩む方に対して今年度、健康診断等の中で「眠れますか？」という設問で、アンケートをとり、訪問指導、相談などをして予防知識を持ってもらう取り組みをしています。

若い方に対しては、命の大切さを学んでもらおうと、中学校に助産師と保健師が赤ちゃんとお母さんの協力を得て「いのちの教室」という出前講座を行っています。その中で赤ちゃんと触れ合ってもらったり、お母さんの苦労を知ってもらっています。

一番大事なことは、周囲の人が悩んでいる人の変化に気づき「助けて」というＳＯＳが言える環境づくりが一番自殺を防ぐ施策ではないでしょうか。

中高校生は、特に成年期特有の心の問題、交友関係の問題、服装の乱れ等に周囲の大人が気づくことが重要です。

家族、地域の皆様の大きな協力がないと目的を達成することは、難しいです。地区の皆様も地域の子どもたちをしっかり見守っていくことが大切だと思います。

☆住民

一人一人がひそかに悩むということもあるので、さりげない日常の変化、ＳＯＳに周りが気付き、悩んでいることに対しての声かけや、話しやすい家庭にするのが大事です。また学校などで、先生は悩んで保健室に来る子供の送り迎えなど、いろいろご苦労があると聞いています。

周りが悩みを察知し、さりげなく聞いてあげる。親の立場として静かに聞いてあげるようにすることが大切です。

町でも自殺の講習会や、メンタルケアが社会福祉協議会を通してありますので、できるだけ私達、子どもを持つお父さん、お母さん達も、そういう機会を利用して参加し理解して、さりげなく治療をできる環境をつくっていただければと思います。

★教育長

今の問題は大きな問題です。先ほども一人で抱え込まないように教職員でチームを組み、子どもと関わっていくわけですが、やはり何気ない仕草の中からＳＯＳをキャッチするには、できるだけ子どもたちと関わる時間を十分にとる。子育ての中でいろいろと悩みが出てくると思いますが、中学校には、週一回臨床心理士のスクールカウンセラーがおり、いろいろな子どもたちと関わると同時にお父さん、お母さんもいろいろな悩みを抱えている場合の相談に当たっています。

いろいろな秘密の部分も守ってもらえますので、もし子育ての部分で悩みがあれば、遠慮なく学校の方に問い合わせをして、スクールカウンセラーが来る日を確認してもらい時間の予約もしてもらえば十分に対応してもらえます。

町の教育センターにも心の相談員が週３回、半日ずつおりまして、こちらでも皆さん方の対応をしております。教育センターまで連絡をしてもらえればと思います。

教職員は子どもと関わる場合、子どもの顔を見ながら会話をするのが基本です。学校を休んだ場合は、電話で連絡をとるのは１つの手段として便利かもしれませんが、子どもの顔、表情を確認することはできませんので、私は先生方には忙しい中であると思いますが、できるだけ家庭訪問をして、子供と会話を増やして欲しいと話をしていますので、家庭訪問をすることに対して前向きに受け入れてもらえればと思っています。

○その他

☆住民

青野パークゴルフにあと２コースつくって欲しいです。認定競技場として大きな大会ができるので、ぜひお願いします。

★町長

この話は小摺戸でもありましたし、個人的にも聞いております。ただ、国土交通省の河川事務所に権限があり、町が勝手に使用することはできませんが、できれば皆さんの要望にお答えできるように取り組んでいきたいと思います。

☆住民

数年前から、少子高齢化で悲観的な数字が出ていますが、もちろん、少子化対策も大切だと思いますが、だんだんお年寄りが増えております。入善町は長生きできるように設備が充実していることは非常に良いことですが、例えば 100 歳まで元気にいても、最後は入院や介護が必要になります。ここにおられる皆さんも、実際にそういう立場になることはありますし、家庭

で介護をされて大変苦労をしておられる話をたくさん聞きます。

介護施設は、入善町には幾つかあります。国の基準では、充分に入所する人数は満たされていると聞いたことがありますが、現実になかなか入所できないこともあります。ここ数年は、不景気で幾つになっても働かないと生活ができないという問題があり、仕事をしながら介護もするとなると、町は安心・安全のまちづくりを掲げておられますが、安心して年をとれない現実が見えています。

若い時から一生懸命働いて税金を納め、何とか年金をもらえるようになり、これで少しは楽ができるかなと思ったら親の介護が必要になったりして、お金もかかり、皆さん大変な苦労をされています。町単独でも介護支援に基準があり、なかなか入所ができない方で在宅介護でがんばっておられますが、聞こえはいいですが実際１ヶ月～２ヶ月、１年～２年と介護をするとテレビであるように、親や子を殺害したり悲惨な事件があります。ぜひ入善町は、国の基準もあると思いますが、安心して年をとるために町で率先して取り組んでもらいたいです。

★健康福祉課長

介護の問題、高齢になった時の問題については、今は介護の施設を造るより自宅で生活できる形で介護サービスを受ける形になってきています。それらは全て介護保険という形で皆さんにも負担いただいております。施設運営していく場合には、介護保険の方でデイサービスの施設、有料の老人施設を造る場合、介護保険に申請をして、認可を受けて設備を運営していくことになります。これにつきましても、皆様からいただいている介護保険の中で、対応していくという基本的なものもあるので、整備をする場合採算の問題、新川介護保険組合は朝日町、入善町、黒部市で運営をしていますので、地域的なものもあります。それらも含め、介護保険等で整備等、準備しています。

今後も入善地区で、そういったものを整備する計画がありますので、順次整備をさせていただく形になります。

☆住民

平成 26 年に新幹線が開通することになっており、それに伴い並行在来線となりますが、現在でも入善の駅は本数が減らされるなど、さびれてきています。夜の遅い時間には行けません。今後、新幹線が開通した場合、在来線は第 3 セクターになるということで、それに伴って、利便性が悪くなることが予測されます。一番打撃を受けるのは、毎日利用する通勤者、学生だと思います。町当局では、これからどのようなお考えをもっておられるのか。今以上にさびれると、町もますますさびれると思います。特急も、ほとんど止まらなくなるのではと予測されます。新幹線が開通すると、ほとんど通過してしまいます。町はどのような展望を持っておられますか。

★副町長

今、並行在来線対策協議会において富山県、市町村などで検討しており、より利便性が上がるよう考えているところです。

住民の足を確保するということは、県、町の課題です。議会においても、並行在来線特別委員会を設けて町と一緒になって検討しておりますので、ご理解を賜りたいです。

新総合計画について

椚山地区

日時：平成21年12月2日（水）

会場：椚山公民館

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民

この住民アンケート意識調査は、公開されるのでしょうか。

★企画調整係長

町のホームページ、広報、ケーブルＴＶ等で、その概要について情報を公開したいと思います。

議題Ⅱ「椚山地区設定のテーマ」

（１）少子高齢化と福祉のあり方について

☆住民

- 子育てで職場を休める状況に無い
- 助成の子育て後の再就職先が無い
- 老人施設や保育所施設が不足している
- 通院や買い物、公共施設への訪問など地区内相互扶助組織が必要である

少子高齢化について、以前交通安全委員をした時、舟見入善線で小学生が２人しか通らず、非常に寂しい思いをして、子供達が減ったと痛感しました。先ほどのアンケートを見ると、入善町の問題のところで、約３/４が少子高齢化の問題です。アンケートは 10 年前にも行ったということで、その前にもアンケートを取っていると思いますが、時間が経つにつれて住民の問題点が変わってきており、この現状を受け、例えば役場内の組織のあり方がこの 10 年、数年間で変わってきたのか、また少子高齢化に対する町の財政の配分がどのように変わってきたのかを教えて欲しいです。

関係はないのですが、私はＪＲを利用しておりますが、看板の入善町深層水の「層」の字が取れているので早目に直して欲しいです。

★農水商工課長

育児休業については、育児や介護を行う労働者の仕事と家庭の両立をより一層推進するための法律です。いわゆる「育児・介護休業法」により認められている労働者としての権利であります。しかしながら罰則が無いので、会社によっては実際には休める状況にないところもあると伺っています。国・県とも協力しながら各事業所に働きかけていきたいです。

子育て後の再就職について、安心して子育てをしていくためには、子育ての環境とともに、子育て後の再就職の場を確保することが大切であると考えています。機会があるごとに町民の

雇用の確保について各事業所にお願いをしてきています。現在の経済情勢により、各事業所は非常に厳しい雇用環境であるが、企業誘致による働く場の創出とともに、町内の企業に引き続き働きかけていきたいです。また、町ではハローワークと連携して職業紹介を開設しています。さらに再就職支援として再就職者のスキルアップを図るため、教室の開催や支援を実施しています。町においても職業能力開発技能訓練奨励金制度を設けました。ぜひ活用をして欲しいです。看板については、発注済みです。

★健康福祉課長

町では、「１小学校下１保育所」を基本に、計画的な統廃合に取り組んでいます。町では、今年４月舟見、野中と統合をしてひばり野保育所を開所をしました。現在、新屋、小摺戸の統合の準備を進めています。

保育所を統合すると、延長保育や早朝保育などへの対応や、保育士を集中することで様々な保育サービスを充実できることになります。

また、入善町社会福祉協議会に「ファミリーサポートセンター」が設置されており、臨時的な育児の要望に応えるため、地域で子どもを預かってくれる人との橋渡しをしています。

また、子どもが一時的に病気で、保育所へ預けることができない時に、病後児保育施設として、嶋田医院でデイケア暖家を開設しており、利用していただけると考えています。

高齢者の施設につきましては、富山県は特別養護老人ホームのような大きな施設の整備率が全国的にも高く、人口に対して特別養護老人ホーム施設のベッド数が多いという状況です。介護保険組合の整備計画により、定員が９名ぐらいの小規模施設の整備を進めており、本年は、認知症の方が入所できるグループホーム「双葉」が 12 月１日に開所しました。

地区内相互扶助組織については、町内にケアネットという一人暮らしの高齢者に対し３～４人のチームを組んでもらい、それぞれ日常生活のサポート、見守りをしていただこうというシステムがありますのでご利用いただければと思います。

★企画財政課長

平成９年の職員の数は 329 名、現在は 260 名で行政改革により、スリムな組織へ変化しました。平成 16 年に合併の話が出て破綻した時に、自立できる町をということで、15 課から 12 課になりました。しかし少子高齢化を考えると福祉、健康は切っても切り離せないということで、健康福祉課の充実を図ってきました。組織的には、時代や町の財政状況に合わせて変化をしてきています。少子化については新しい保育所づくり、病後児保育に力を注いでいます。

子どもの数は平成元年から約 300 人で、今は約 200 人となっております。町では０歳児から小学校６年生まで、医療費の無料化に取り組んでいます。

高齢者については小規模な老人施設への支援、高齢者にますます元気でいてもらうためのパークゴルフ場、介護予防の事業に対する予算の方を少しずつ手厚くしていくことが、町の財政としての取り組みです。

（２）町の各種団体活動をケーブルＴＶで特集放送

☆住民

入善町の伝統文化芸能、生活、食文化などの活動状況を多くの皆さん方に知ってもらうために、ケーブルＴＶなどを活用し、活性化を町の方で呼びかけて欲しいです。

少子高齢化については、運動、文化活動においても、構成員の年齢が上がってきています。町の方で教育文化を高めていくために、どのようにすれば良いかお聞かせください。

★企画財政課長

ケーブルＴＶでは 15 分の行政番組の枠をもっており、タイムリーな情報を皆様にお伝えするため、放送しています。しかし各種団体の活動の把握をしきれていないので、地域でイベントなどがある時は企画財政課、広報の担当者、サンウェル内のみらーれＴＶの担当者に情報の提供をお願いします。そうすると、ケーブルＴＶ、ＨＰ等で皆様にお知らせをすることができます。行政情報番組には、皆様の顔が出た方が視聴率も上がりますのでお願いします。

また、地域のイベントを個人で取材をされたものでも、ＤＶＤなどでいただけるものがあれば、番組などに採用をさせてもらいたいです。

団体活動に支障が出ていることにつきましては、私も昔、若い頃に今江太鼓をやっておりました。十数年間、若い人で太鼓をする人がいなかったが、結婚してその子供が大きくなり、子供も太鼓の保存会に参加すると、大人も参加したりして、昔ほどではないが少しずつ盛り返してきていると思います。

総合計画の説明にもありましたが、晩婚化が問題となっており、早く結婚していただければ地域に生活基盤ができます。地域との関わりを避けて通ることはできないので、家庭を築くことで、地域に溶け込んでいただけると考えます。また皆様からアイディアをいただければ、新総合計画の中で取り組んでいけるものについては、取り組んでいきたいです。宜しくお願いします。

★教育委員会事務局長

椚山地区においては、町の無形文化財である椚山の獅子舞があります。町内各地にも郷土芸能があり、例えばコスモホールで発表の場を設けたり、ケーブルＴＶ等で皆様にお見せするなど、いろいろなことが考えられます。例えば、郷土芸能を１冊の本にしてまとめたりして活動状況を載せることも含め、今度町の方で考えていきたいと思います。

（３）安心な環境づくり

☆住民

リサイクル広場に通ずる道路が狭く危険です。リサイクル広場に持ち込む車の数が大幅に増加し、車の大型化が進んでいて危険です。

土日には、スポーツ少年団などグラウンドに送り迎えする保護者の車が列をなしていて問題があります。

リサイクル広場の進入口は２ヶ所あり、８号線方面、椚山方面どちらも入り口が大変狭く、車同士の対面や歩行者、自転車の通行も危険です。スポーツ少年団の送迎や、グラウンドで行

事がある時は道路が大変込み合います。夜間、歩行者は車を避けるのも大変気を使います。
町のほうで何か対応がありましたら教えて下さい。

★建設下水道課主幹

県道小杉椚山新線からリサイクル広場へ向かう町道経塚線と８号線からリサイクル広場へ向かう町道横山田ノ又国道線ですが、道幅も狭く、現在、車の量も多いです。

町道を拡幅するには、隣接する用地の地権者や支障となる物件を所有する方の同意が不可欠であり、地元で同意を得ることが出来れば、今後検討して対応していきたい。

★教育委員会事務局長

学校周辺の皆さんや、リサイクル広場の利用者の方には大変ご迷惑をおかけし、申し訳なく思っています。路上駐車については、スポーツ少年団の指導者等を通して、車を駐車場に止め、リサイクル広場の利用者に迷惑とならないよう呼びかけていきたいです。学校の方からも保護者に呼びかけたいです。

☆住民

現在のリサイクル広場の場所自体に問題があるのではないでしょうか。道路を広げる場合とリサイクル広場を他の場所に移した場合とでは、どちらがお金がかかるかそれも含め考えて欲しいです。

★住民環境課長

建設当時３点の用件がありまして、①土地が公共用地である②電気、水が確保できる③環境教育という観点から学校の近くが良いということで、教育委員会とも相談をして、現在のところに建てられました。様々な社会的な事情から、現在の場所が適当ではないとなれば、また役場の方で相談をしていきたいです。

（４）安心な通学環境について

☆住民

椚山不動堂横の道路は、昔は農道であったが、最近はコスモニュータウンもでき子供達も多くなり、今は通学路となっています。コスモ 21 もあり、道は狭いが車の量は増えてきており、朝、夕方の通勤時間帯に危険を伴います。今のところ事故はありませんが、これから何が起きるかわからないので、何とか規制をして子供達の安全を図って欲しいです。県道とのＴ字路にも一旦停止などの標識を設置して欲しいです。

★総務課長

安心な通学路の確保には、まず車を利用される方のマナーが大切です。今、夕方になると早く暗くなるので、３アップ運動のマナーアップ、チェックアップ、ライトアップを進めていきたいです。児童がいればスピードを緩めて安全確認をしてもらいたいです。

規制等については、県公安委員会が決定することであります。そのため地区の交通安全を携

わる地区支部部長（黒東交通安全協会）さんなどと十分協議する必要があります。
毎年、危険箇所や道路標識を含めて、見回りを行っています。
ただ、規制を行うかどうかについては、慎重に見極める必要があります。
一旦停止の規制標識についても、充分に入善警察署と協議してまいりたいと考えています。

☆住民

横山用水沿いに30年ほど前に植えた桜の木についてですが、町の景観として大変有意義ですが、管理が必要であり、毎年冬前に枝おろし等の作業をしております。何本か枝をおろして処分場へ持っていくと当然処分の費用がかかります。量が多いと処分する経費がかかります。町の方で木の集積場を設置していただければ助かります。お願いします。

★住民環境課長

一般的には、伐採した枝などは一般廃棄物としての分類となり、燃やせるごみとなります。
30ｃｍ程度の長さに切り、ヒモで縛ってシールを貼れば、決められたごみステーションへ出していただければ、収集車が集積場へ持って行きます。
１ｍ程度であれば直接、エコポートへ搬入し50㎏まで200円の手数料が必要となります。また直径が20ｃｍ、長さが２ｍ以内であれば、黒部市の宮沢清掃センターへの搬入となり、100㎏まで300円となります。
ただ、公民館や神社など公共性の高い施設から排出される枝等は、地区全体のボランティア活動によるものであることから、住民環境課にご連絡をいただければ、地区の負担とならないよう対応は可能です。その際の処分場までの搬入は地区でお願いします。

○その他

☆住民

最近、自動車事故が増加しています。電柱の反射材などを電力会社などに手配をしてもらいたいです。町の案内板の支柱にも取りつけてほしいです。

★建設下水道課主幹

北陸電力、ＮＴＴに、その点を対応してもらえるよう、こちらから働きかけたいです。また、町も対応していきたいです。

新総合計画について

横山地区

日時：平成21年11月9日（月）

会場：横山漁村センター

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民

ご意見・質問は無し

議題Ⅱ「横山地区設定のテーマ」

（１）地区中核施設「漁村センター」のリニューアルついて

☆住民

漁村センターは地区公民館としてだけではなく、災害対策拠点施設、また高齢者のふれあいの場、グループ活動の拠点施設として重要な役割を果たしていますが、建設後約 30 年が経過したこともあり、耐震基準に対する未整備、老朽化に伴う管理障害、雨漏りなどが発生し多様な拠点施設としての機能が備わっていません。また高齢者が利用しやすい機能整備が必要です。今日高齢化が進む中、高齢者の活動も活発になり、今や漁村センターの最大の利用者は高齢者です。各種イベントの多くは２階ホールで行いますが「階段の上り下りが辛い」、「２階にトイレがない」、「会場が狭い」など高齢者に対するバリアフリーの時代にそぐわない施設となっています。

つきましては、町が現在取り組んでおられる安全・安心のまちづくりの観点からも速やかな改善を図られるよう強く要望するものです。

★教育委員会事務局長

漁村センターは、昭和 55 年３月に完成した建物で約 30 年経過しており、非常に老朽化が進んでいます。今ほどのお話にありましたようにホールが２階にあるため、特にお年よりには利用しづらい施設であることも認識しております。加えて、最近全国で頻発する地震などの際には、耐震化されてないので緊急避難施設としての対応は難しいと考えております。

入善町には、昭和 50 年代に建てられた地区公民館が４つほどございます。横山地区、舟見地区、野中地区、飯野地区にあり、30 年もしくは 30 年以上経過しております。町としても、高齢化に対応した建物であるか耐震化された建物であるか、そういったものに対応するために、早急に改修しなければならない大きな課題であると思っています。

町では、新しい総合計画の中でこの課題を位置付け、できるだけ早く対応できないかと思っています。建設の際には、地元の方のご意見を十分取り入れながら協議した上で造ることになると思いますが、いずれにしても少子・高齢化、防災など安全・安心が確保できる建物にしたいと思っています。

なお、雨漏りなど修繕を要する部分があれば応急処置をすぐさせていただいて、今しばらく

お待ちいただきたいと思います。

☆住民

新総合計画の中に、はっきりと組み入れていただけますでしょうか。

★町長

いつとは、はっきり分かりませんが、前期の間に組み入れたいと思います。今、町の方でいろいろと考えておりますので、考えがまとまりましたら役員の皆さんと相談をしながらやっていきたいと思います。

☆住民

先ほど、雨漏り等をしばらく直しながら使用して欲しいという回答がありましたが、雨漏り以外にお風呂の老朽化、アスベストが使用してあるところがある等、健康面で悪いです。そういうところも踏まえながら、早急に改修して組み入れていただきたいと切に思います。

★教育委員会事務局長

雨漏りも含め、お風呂の部分についても、その都度また応急処置をしながら対応していきたいと思います。

☆住民

私達はよく漁村センターを利用しますが、自転車置場の屋根を直していただけないでしょうか。雨の日に停めている自転車やバイクのヘルメットが濡れしまい非常に困ります。ぜひ屋根を直していただきたいです。

★教育委員会事務局長

早速、明日現場を見まして、修繕をするようにしたいと思います。

☆住民

自転車置場ついては、何度も町の方へ要望を出しておりますが、それは今回初めて聞かれたということでしょうか。

★教育委員会事務局長

伺ってはおりますが、そのような修繕個所が各地区の公民館で同時に出てきた場合、優先度、緊急度などを含めながらやっておりますので、再度見させていただいて対応をしていきたいと思います。

（２）ウォーキングコース横山「シーライン」の設置について

☆住民

このテーマは昨年もお願いをしており、引き続きお願いをするものです。

最近、皆さん健康づくりのために朝、夕方、夜と横山の海岸をウォーキングする方が大変増えてきています。夫婦で歩く方、友人同士で歩く方、ペットを連れて歩く方がおられます。このコースをウォーキングコースと名づけていただいて、要所要所に距離表示メーター、ベンチ、トイレ、水飲み場などを設置していただけるようお願いします。

ウォーキングは、各地区で盛んになっています。特に横山地区は、高齢者の占める割合が増えてきています。町からの資料を見ると平成 17 年の国勢調査で総人口 1,817 人、昭和 60 年には 2,021 人おられた横山地区の人数が、約 20 年間で 200 名減ってきています。横山地区では、1,817 名のうち、65 歳以上の方は 495 名で 27.2%を占めています。町全体から見れば横山地区の方が少し高齢化が進んできているということもあり、健康維持のために皆さんは一生懸命自助努力をしているところです。国全体でも健康で長寿社会というのが国の政策です。町も当然健康で長生きしてもらうためには、やはり病気にならない、病気になり医療費がかかると町の負担になりますので、健康維持のため、自助努力をして欲しいというのが町の願いだと思います。そういうのも含めて、横山海岸からのアルプスを眺めながら、新鮮な酸素を胸一杯に吸い込んで歩く、そして自分の健康を保ち、健康増進と心の癒しにもなります。早急に横山シーラインを設置して欲しいです。ベンチの設置だけでもお願いします。

★建設下水道課長

国交省でも、現在海岸沿岸住民のみなさんからいろいろなアンケートをしたりしながら、現在「下新川海岸マスタープラン」を何年か前から策定に入っており、実はこの春、概要が発表されています。先の高波災害により、海岸保全、安心、安全のまちづくりの中で、今後 30 年の海岸整備のあり方も含め、若干の見直し等もされています。国交省で高波災害復旧工事が進められており、現在の工事が終われば、町の方でも占用許可をとって今後整備をしていくのか、逆に看板、トイレ、ベンチなど様々な施設の話もありますので、これにつきましては、国の方で親水海岸等について取り組んでもらえるのか、様々なこともありますので、また国交省と交渉等をしていきたいと思います。近隣の市、町の方で海岸線のロード整備の話もあります。そういったことも含め、総合的に対応していく必要があると思っています。

私の個人的な思いとしては実際、健康保持、健康増進のためとなり、自然と親しみながら毎日楽しむということは、体も精神的な部分でもいろいろと効果があると思っています。私も毎朝ジョギングをしておりますが、中には夫婦で道路を歩いておられたりします。何人かの方と「おはようございます」と挨拶をして、一言声を発するだけでも、すごくその日一日が充実したものになると思います。この黒部川扇状地特有の景観、海あり川あり山あり、そういったものは今後大切にしながらの環境づくりが、これからの町づくりの中には必要かと思います。

特に都会の方へ行きますと、多摩川沿いの堤の上では大勢の人が歩いたり、ジョギング、サイクリングをしたりしておられます。また１キロメートルごとに道路の下にメーターが刻んであり、何らかの目的を持ってできる環境が整備されています。そのような形で対応することは、建設下水道課だけではなく、健康福祉課、専門的なスポーツの関係の課とも協議をして、少し

でも早いうちに国交省にお願いをしながら進めていければと思います。

☆住民

今、海岸工事をされていまして、国交省の道路に交通のためにアスファルト舗装をされましたが、そのアスファルトは工事が終了次第、撤去されるのか恒久的に残すのかどちらでしょうか。国交省の管轄で、町の方では把握されていないかもしれませんが、もしご存知でしたら教えて欲しいです。今後、アスファルト道路を利用するような形も考えられると思いますが。
お願いします。

★建設下水道課長

堤防の内側に工事用の道路があると思います。これは、あくまで工事用で不必要になれば撤去されることになると思います。町も現在山側に防災林等整備をしており、その周辺にもウォーキングコースにしながら、ある程度松の木が生育した段階で、散策ができるような整備の仕方も必要だと考えております。

☆住民

工業用道路は、横山の道路よりもすばらしい道路ができています。そういったところも利用しながら撤去しない方向にしていただければ、住民が一体となり、すばらしい海岸になるのではないでしょうか。それも踏まえて、ぜひ町からも道路を残すような意見を言っていただきたいと思います。

★建設下水道課長

おそらく、堤防の内側になりますと管理的に難しい部分もあると思います。あくまでも工事用のためのもので、それを置いておく、また開放することによって管理責任もついて回ると理解しています。今言われたように管理的になんとかなるものであれば、そういうような形で、開放していただくなり利用させていただくということも大事だと思います。今一度、国交省へ確認を含め、将来的にどういう形になるのか、そういったところも今後確認させていただきたいと思います。

（３）通学路の整備について

☆住民

今から約 15 年前に、当時の横山小学校と椚山小学校を統合したいと町の方からの申し出により、両地区の関係者、町の関係者が協議する機会が設けらましたが、そういう中で古黒部地区としては、安全・安心な通学路の整備を最優先課題としてお願いをしました。

町もその件については、もっともなことだということで受け入れをしていただき、両者において合意ができていたと理解をしています。

桃李小学校が開校してから 12 年が経過しています。そういった中で町の取り組んでおられる姿勢が、残念ながら今だ満足のできる通学路が完成しているとは言えない状況にあるのではないかと思います。

具体的には町道藤原長島線ですが、この道路は田ノ又西側の踏切から藤原の宮、古黒部の墓地までの間、大変道幅が狭くなっており、車一台がようやく通れるという状況であり、交通事故の危険性が非常に大きいと言えます。この問題などを含め、速やかに道路の拡幅をお願いしたいと思います。

街灯に関することですが、秋の終わりから冬になると日が暮れるのが大変早くなってきます。下校時において街灯の設置は、私は絶対に必要だと思います。私も通学路をみますと、やはりこの点についても未整備と言わざるを得ないと思います。とりわけ桃李小学校から遠くなる地点の古黒部の方では、必然的に暗くなる可能性が大きくなります。藤原の宮から古黒部の町道古黒部国道線があり、そこまでの間約 700 メートルの間に、わずかしか街灯が無く、犯罪、暗いことに伴う事故などを考えた場合、父兄の皆さんは心配が絶えないような状況になると思っております。

防犯灯の問題については、町は大変財政事情も厳しい状況にあることを十分認識していますが、取り組みやすい課題ではないかと思っていますので適切な対応をお願いします。

もう一点、冬季における除雪体制がまったく機能していないという状況について、降雪時には父兄の皆さんが、今では車で送り迎えするのが当たり前になっています。あらためて、スクールバスの検討をもう一度考えていただきたいと思います。単純にスクールバスというとらえ方ではなく、今では町営バスがあります。学童保育もやられております。子どもたちもしっかりと管理した状態で学校から送り出す。このように多面的に考えていただければ、何かおもしろいアイディアがでると思います。３点ほど申し上げましたが、町の考えを聞かせていただきたいと思います。

★建設下水道課長

藤原長島線につきましては、平成 14 年から少しずつ整備をしております。あくまでもこの整備は、地元の地権者の同意を得るという原則で、同意を得た所から年次的に整備を進めてきているところです。本年度においても、藤原長島線と椚山田ノ又国道線について地権者のご協力をいただくことになり現在測量、工事を今年度中に終えたいと努力をしているところです。これが終わると縦道の未舗装部分の舗装をする等、順次進めて参りたいと考えています。

古黒部藤原線につきましては、平成 11 年度から整備をしてきていますが、まだまだ完成には至っていないというのが現状です。入川から西側については完成しております。入川から東側の古黒部地区については一部の完成はしておりますが、平成 16 年度から古黒部地区の圃場整備に着手した経緯があり、今現在それが終わるのを待っているという状況です。

藤原長島線、椚山田ノ又国道線の工事が今年度で終わることから、順次整備に入っていきたいと思っています。完成まで、まだ時間がかかりますがご理解のほどお願いします。

★教育委員会事務局長

防犯灯・街灯についてお答えしたいと思います。

実際、夜に現場へ行って見ましたところ、区長さんがおっしゃいましたように、暗い所がかなりの距離にわたってあることが分かりました。

古黒部藤原線で一部狭い所が残っているわけですが、その部分が整備終了された後に、そう

いった街灯も整備することになりますが、防犯灯担当の総務課と協議をしたところ、非常に危ない部分にいては、電柱の位置などを見ながら、対応していきたいと話をしておりました。街灯、防犯灯をつけるとなれば、地権者の方、近くの方の許可や地元の方の同意も得なければなりませんので、また担当課と協議をしながらできるだけ子どもたちの安全が確保できるようにしていきたいと思います。

入善町の中でも古黒部は、降雪量が少ないのではないかと思います。スクールバスや町営バスについては町全体の話もありますし、今の除雪体制の中で建設下水道課と十分協議をして、子どもたちの安全が確保できるように対応したいです。

☆住民

横山消防屯所から桃李小学校までの道路整備について、２点確認させていただきたいと思います。まず第１点は、旧国道とＪＲ北陸線高架下の工事関係の概要について、お聞かせください。

もう１点は、農免道路の下側の側溝が川になってしまうと、長年私達先輩の区長さん達が町の方へ陳情しておりまして先日、町長、副町長さんが現地を視察に来られまして、いよいよ工事の計画が本格的に決まりましたと聞きしました。その件について、工事の概要日程、完成までの工期と合わせて２点お聞かせください。

★建設下水道課長

桃李小学校から消防屯所に向かっての道路ですが、今年度県の方で事業のランクを上げていただき、昨年まで改良で１千万円程ついていたが、格上げしてしていただくことによって事業費として、5 千万円ついたということです。県土木事務所で交差点の地権者の方と交渉して、補償費に当てたいとお話をいただいております。この後２～３年で交差点の改修と同時にＪＲのアンダーの部分についても、東側に新たな歩道を造ることになっていますので、それも含め、消防屯所の方までの道路についても、交差点から下側へ考えたいと思っています。

今後、県もどこまで早期に改良工事をしていただけるのかという部分もありますが、それに合わせ、町の方も下側へ道路改良工事に入りたいと考えていますのでよろしくお願いします。

下側の川が溢れることについては設計、入札も終わっていますので、この後早急に業者から、地元にお話があると思います。また業者の方に話をして、区長さん等地元の方に挨拶方々説明に行くように、話をしていきたいと思っています。側溝の件は、２月末までには完了するということですのでよろしくお願いします。

○その他

通学道路の件で、今のところ少なくても４件立ち退かれるとして、それに５千万円では工事の進捗はできないのではと思いますが、今の計画と今後交差点がきれいになった後で下の方への通学道路の改修が始まることについての見通しは分かりますでしょうか。

★建設下水道課長

今年度より事業の格上げとなり、今おっしゃったように補償費が足りないのではないかとありましたが、県の事業であり、県の方としても用地買収の条件が整えば、工事は早く進むと理解しています。今年度ある程度交渉が進めば、来年度それ以上に予算が計上されると考えており、この件については特に県議にいろいろとお力添えをいただきながら進めており、町の方としても関係の皆さんを通じ、県に強く要望していきたいと思います。

新総合計画について

舟見地区

日時：平成21年11月13日（金）

会場：舟見コミュニティ公民館

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民

ご意見・質問無し

議題Ⅱ「舟見地区設定テーマ」

（１）舟見地区活性化対策について

昨年のまちづくり懇談会における「地区設定テーマ」を、再度今年度のテーマとし、その方向性を見極めたい。

☆住民

昨年、11 月 25 日の地区テーマで３点ご提案させてもらいました。今回はこの３点に対し、町当局の進捗状況を詳細にご説明いただきたいです。

①舟見地区活性化対策について

企業誘致、住宅政策、高齢者対策等

特に企業誘致ですが、即効性のある工業用地があり、県の企業立地セミナーなどを活かし積極的に誘致を進めていく回答をもらっています。その後の進捗状況をお聞きしたいです。住宅では、町営住宅は老朽化が進んでいます。またいろいろな意味で住宅対策に取り組む町の姿勢をぜひご回答いただきたいです。

前回、民生委員の方からの質問ですが、あさひ総合病院の医師不足、ベッド数の減少のこともあり、現実的に舟見地区の方々が黒部市民病院に通うケースが多いです。朝日町と黒部市の協力体制を進めていきたいとありましたが、その後の進捗状況も聞かせてください。

②安全安心なまちづくりについて

老朽化した公民館等の改修・改善計画について、舟見コミュニティ公民館は耐震化されていませんので、現状を踏まえ今後の町の姿勢としてどのように考えておられるのかご回答をいただきたいです。

③観光資源の有効資源の有効活用について

舟見地区は森林ゾーンであると昨年承りました。入善町の観光拠点について、様々な団体の方と協力体制をひいて、地区を取り巻く他の市町村を交えた観光ルートの構築を提案させていただきました。他の町村との連携を図りながら検討していきたいとの回答ついて進捗状況をお聞かせ願いたいです。最後に町の西裏線歩道整備の現状も含めて、完成時期についても教えてください。以上３点についてこれからの新総合計画の中にどのように舟見地区として取り組んでいただけるのか相対的なご説明をお願いします。

★農水商工課長

農水商、工業、観光とあわせてお答えします。

まず企業誘致については舟見地区だけではなく、町の活性化にもなります。また働く場の確保、人口対策などに非常に有効なことだと思います。町としても積極的な企業誘致をして、全国の競争を勝ち抜いて、それなりに幾つかの企業を誘致したところです。舟見地区においても、工場跡地があり、すぐ使用できる用地があります。富山県の東京事務所、大阪事務所などに町長にお願いに行っていただいており、精力的に企業誘致を行っております。私も積極的に押してみても、最後に厳しい企業もありますが、今後も引き続き企業誘致を行って参ります。

観光について、舟見地区には特色ある七夕まつり、町並みなど歴史的資源がたくさんあります。昨年言いましたが、滑川から朝日町までの３市２町で新川観光圏連絡会が設立されました。国土交通省の補助事業をうけながら入善町だけではなく、例えば滞在型で２日、３日滞在してもらい、宇奈月やバーデン明日で１泊してもらい宇奈月町、魚津市、入善町の城址公園や朝日町の方へ来ていただくよう総合的な計画を練っています。新川観光圏として、お手伝いできること、例えば手荷物などを運んであげるなど、観光客が喜んでいただける観光作りに努めていきたいです。ぜひ舟見地区にも来て見ていただきたいので新川観光圏の設置に伴い、ますます強力にしていきたいと思います。

★企画財政課長

住宅政策等について、少子・高齢化、若者の流出が入善町において大きな課題となっています。舟見地区においても同様なことがあり、地域の活性化のための住宅政策ということで今回のテーマをあげられたものと思います。この舟見コミュニティ公民館を中心として、旧小学校跡地、南側には町営住宅、北側には舟見中学校など、公共施設が集中しております。これらをふまえ周辺一体、舟見コミュニティ公民館の新設を含めて今後の構想作りに入りたいと考えています。

舟見保育所の閉鎖について、今、取壊しの発注をかけています。今月中には入札で業者が決まると思います。工期は３月までで、町としては保育所の跡地を分譲宅地として考えています。若い方達を呼ぶために、分譲宅地を造ればどうかとのご意見も去年あったと思います。これを通してどれだけ舟見地区に住宅ニーズがあるのか見極めたいと考えています。

その上で利用構想をつくり、新総合計画にのせ、舟見コミュニティ公民館のご質問に対する回答も学校教育委員会の方からしていただきますが、できるだけ早い時期に建て替えを考えていきたいです。全国的に入善町も少子・高齢化、若者の流出という状況に陥っています。これらを何とか食い止めなければと思っていますので、みなさん方の知恵をいただきたいと思います。

★健康福祉課長

高齢化対策について、高齢者が安全･安心で暮らせるための施策が重要課題となっています。現在、入善町、舟見地区においても一人暮らしの方が非常に多くなっています。入善町では、一人暮らしの方が 770 名、高齢者の方だけの世帯が 790 世帯あります。

この方達が生活できるように私達は万が一の場合、近所、親戚の方に連絡できる緊急通報

装置の貸し出し、生活援助員の派遣、一人暮らしで食事の用意が不自由な方には給食の配食サービス、寝具の丸洗い乾燥などを実施しています。このような方達が日常、不便を感じていてもなかなか行政は毎日、目が届くわけではなく、どうしても近所の方に見ていただくということが非常に多くなると思います。例えば、隣近所の方がチームを組み一人暮らしの方が不自由を感じていないか、見守るケアネット事業という形で見守り隊を少しずつ増やしています。

災害時には高齢者、一人暮らしの方は自分で避難をすることは難しいのかもしれないので、いち早く安否を確認し、避難誘導をしてあげる近所の方が必要となってきます。そのために一人暮らしの方、万が一の時に手助けが必要な要援護者の方の名簿と地図を渡し、ご協力をお願いしています。名簿については、毎年更新をしています。ただこれらを一部の方で全部するのは難しいと思うので、地域全体でご協力をいただくことが非常に大きなことです。ケアネット活動を増やしながら、共助のまちづくりを進めていきたいと思います。高齢者の皆様には、生きがいづくり、健康づくりについて舟見地区でも行っている、いきいきサロン、町が行っている出前講座などを利用してもらえればと思います。今年施設でいろいろな活動をしておられるサークル、例えばダンス、茶道教室などについては、手作りで地図を作りましたのでお渡しして活用いただければと思います。

★教育委員会事務局長

舟見コミュニティ公民館は、昭和 53 年 12 月に建設され 30 年以上が経過しています。最近では、雨風の時に雨が入ったり、ご迷惑をおかけすることもあり老朽化が進んでいます。２階に集会室がありますが、トイレが２階になく、特に高齢者の方を中心に利用しづらい施設となっています。加えて地震などの災害時には耐震化もされておらず、避難施設としての対応は難しいと考えており、早く改修が望まれるところです。入善町には昭和 50 年代に建てられた施設が４地区にあり（舟見、野中、飯野、横山）いずれも改修することが町の大きな課題となっています。

先ほどから新しい総合計画の話も出ていますが、その中で改修について位置付けを予定しており、できるだけ早くすることが町の考えです。舟見コミュニティ公民館の改修の際には、地区のみなさまと協議をして、少子・高齢化、また防災など安全・安心の確保、また世代間交流などもあわせたコミュニティ活動ができる施設になるよう十分皆様方と相談をしていきたいと思います。

☆住民

舟見地区の要望に対して、どのような事業化をして、いつまでに着手、完了していただけるのかを私達は求めています。抽象的な回答は求めていません。検討では 10 年、20 年、30 年と先送りができます。教育委員会事務局長からもなるべく早くとの回答をいただきましたが、いつまでに事業化をして何年に終わるかを聞かせてください。

住宅ですが、町には他にもたくさん老朽化した施設があると思いますが、他の事業計画がどうなるから、舟見がこうなるという説明があれば分かりますが、抽象的で回答になっていません。観光については、「森林ゾーン」について他市町村と提携をされるのは良いことです

が、いつ、どこと提携をされるのでしょうか。そういう具体的な話もありませんでした。何を検討し、説明をしておられるのかをはっきりとして欲しいです。

★副町長

いつ事業化するのかについては、議会の議決を得て初めて成り立ちます。構想は持っておりますのでご理解をいただきたいです。

舟見コミュニティ公民館については、早急にやっていきますとしか言えないのです。

住宅政策について、企画財政課長の説明もありましたが、舟見保育所については入札後、２月までの完成予定です。企画財政課長には、早期に造成をして入善町以外の方を対象にするように指示をしました。そのような実証事業をし、ニーズを見極めたいと考えています。

観光について、滑川市、魚津市、黒部市、入善町、朝日町と連携を取りながら考えています。

舟見地区について、きつね平の開発では展望台を造りました、舟川ダムは完成までに例えば、ヤマメ、ニジマス、ワカサギなどで観光づくりをしていきたいです。ほたるの里もあるので、観光づくりをしていきたいと思います。

☆住民

西裏線の改修工事について、現在どのように進捗しているのか将来どのようになっていくのかお答えください。

★建設下水道課長

西裏線の歩道の改修ですが、今年度着工して現在完成に向けています。延長 200 メートルほど改修した後、継続して改修する計画です。政権の問題、補助金の問題、事業認可の問題もある中、町全体の道路、歩道改修があり、いつまでとは言えませんが、少しでも早く子ども達が安心して通学できるようにと思っています。早いうちに全線改修を考えています。

☆住民

昨年のテーマは、いろいろな意味で舟見地区にとって大変な問題となっていく経緯があります。特に舟見中学校の統合、舟見地区の活性化について、安全・安心のまちづくりが基本となるでしょうし、この地区にある多数の観光資源の有効利用も大きな要因となってくると思います。また入善町全体から見ても各地に観光資源が点在しています。そういった所を点と点ではなく、点を線でつなぐように取り組んでほしいです。

☆住民

高齢者の対策について、舟見地区から入善町役場や中心商店街、大型商業施設に行くまで８～10 ㎞あり、車の免許を持たない方などの足として電動四輪車が増えており、散策したり、買い物をしたりするのに非常に便利です。ただ充電式で 20 ㎞の走行しかできないと聞いており、舟見から入善へ行くと帰りがギリギリになります。そのため役場や図書館などに電動四輪車を充電する設備をつくって欲しいです。中心街から離れた住民も、人に頼んで車に乗せてもらわなくても済むのではないでしょうか。

★健康福祉課長

今のお話ですが、スピードは歩行程度しか出ないので、バッテリーの容量もそんなにないと思います。充電の問題についても、100V の家庭用電源で充電ができると思いますので、今後の高齢者のサービスの１つとして研究させてもらいたいと思います。

○その他

☆住民

生まれ育って楽しいふるさとに、もう１つ安全・安心と精神面的なことも入れてはどうでしょうか。

働く場所については、先ほど農水商工課長さんが言われたように、できるだけ力を入れてほしいと思います。働く場所がないと若い人が出ていき、高齢者が残るので働く場所をつくって欲しいです。

新総合計画について、黒部川扇状地研究所には、学者、先生方など優秀な人材がおられます。もっと活用すれば、しっかりとした計画ができると思います。

高齢者の問題についてお年寄りが孤立して、一人になってしまいます。昔、私が若い頃は、近隣の人と心のつながりがありました。人と人との輪、つながりが生まれるような政策にも力を入れて欲しいです。昔は隣近所の付き合いもありました。高齢者が一人ではないと思えるようなまちづくりをして欲しいです。特に舟見地区は限界集落に近づいていると強く感じています。

教育委員会へお願いです。舟見地区として、ふるさとの自慢できることが子どもたちにはっきりしません。例えば、地域の人物など誇れるものを総合学習の中に取り上げて、違ったふるさとを知ってもらい、良いふるさとに育ったと思ってもらえる子どもにしてもらいたい。

舟見中学校の統合について、舟見の子供たちは少人数だが非常によく育っておられます。大事な子どもたちを預けるので、精神的な面もしっかりとケアして欲しいと思います。

まちづくり懇談会で、年１回話をするだけではなく、魚津市では各校下に１名ずつ担当者がいて、校下の実状を調べ集まって話をしたりして市政に反映していると聞いています。舟見地区にもそのような担当者を置いて欲しいです。

観光について、舟見城址館の道路に狭いところがあり、危険なので直して欲しいです。

★教育長

舟見中学校の統合については、地区のみなさん、子供さんの保護者の皆さんに長時間にわたりいろいろと不安な思いをさせまして大変申し訳なく思っています。今、子どもたちの安全確保を第一として、11 日の保護者会、区長さん、皆さん方の一応ご理解を得たということで、来年の３月に統合をして、４月１日から、入善中学校に通っていただきます。この問題については、全員から賛同を得たわけではありません。何人かの方は不安な部分もあるかと思いますが、保護者代表の特別委員会の皆さんと十分に協議をしながら、子どもたちを健全に育てていくことをみなさんと考えていきたいと思うので、よろしくお願いします。先ほどの話にもありましたが、舟見中学校の統合に伴い、保護者の特別委員会から要望が出ており、この中に子どもた

ちのケアに関することなどが入っているので、十分に対応させていただきたいです。

昨年の校長会で、心の教育で道徳の副読本について、行政で作られたものを基に学習すべきか、地域の先人達の生い立ちを資料に作ればよいのか、氷見の方では郷土の資料を使い、心の教育を行っているという事例もありました。

私も小学校１年生の保護者に 10 分程話をする機会があり、２つのお願いをしております。1つは今の子供たちは家の中で過ごす時間が多いです。昔から子どもたちは風の子で、外に出ていろいろな遊びを覚えながら人と関わること、そして日本は四季のはっきりした国ですので、四季折々の自然の変化に触れ合うこと、こういった部分が郷土愛、心の大きな成長につながっていく、そういった部分も保護者に伝えながら、学校の学習でも外へ連れ出して郷土の素晴らしさを体感できるようにしています。

★企画財政課長

新しい総合計画では、働く場所の企業誘致について、数社に旧舟見ベアリング跡地を見てもらいましたが残念ながら意に沿わなかったようであり、今後も力を入れてやっていきたいです。黒部川扇状地研究所の活用については、特に地下水の問題には非常にお世話になっており、新しい総合計画を作る上でいろいろな提言を受けていきたいです。

また高齢者対策ですが、昔はいろいろな家をお年寄りが訪れたりしていましたが、そういったことがなかなか難しいということで、各地区の自治公民館でサロンをやっておりますので、そちらを利用して欲しいと思います。

新しい総合計画の中でも、どういう方法が高齢者の生きがい対策になるのか検討していきたいです。

舟見城址館への道路については、できるだけ早い時期に整備をしたいと思います。道路の問題については、先ほどの西裏線にもありましたが、暫定税率の廃止で、道路財源が地方にこなくなるということもありますが生活道路、子どもたちの通学道路を重点的に整備したいと思います。

また地区に担当者を置くことについて魚津市では、まちづくり懇談会のようなことはやっておらず、地域や地区の要望、実態を知る上で置かれたのだろうと思います。最近では、タウンミーティングという形でやっておられると思います。地区担当者を置くことについては、検討をさせていただきたいです。

★農水商工課長

平成 18 年のクマの電気柵設置について、みなさん方に設置から撤去まで、お世話になっていることにお礼を言いたいと思います。今年もまた設置をしていただいたおかげで、11 月 1 日現在まで目撃、痕跡はまったくございません。その他、若干県内で出ている所で目撃数が５件ほどあり、痕跡は 45 件ほどあるという状況です。このあと冬に向かっての撤去作業もありますので、よろしくお願いします。

新総合計画について

野中地区

日時：平成21年12月3日（木）

会場：農村婦人の家

議題Ⅰ「総合計画について」

★企画調整係長

〈主旨説明〉入善地区参照

☆住民

５番目の施策に対する満足度と重要度で、これは大変関心を持つところだと思います。一方で施策を遂行するにあたり、大変苦労されるところだと思います。今後これらを十分勘案していただき、野中地区でも少子高齢化が町の中でも進んでおります。若い人が住みたくなるような施策をとっていただくことが大変重要なことです。

道路については県道を改良していただくということで、新幹線の側道、スマートＩＣがあり、野中地区に対する企業誘致は他のところと比べても全く遜色はないと思います。野中地区にやさしい新総合計画を作っていただきたいです。

☆住民

町全体として、新しい政権下で全くはっきりしない部分があると聞いています。特に町の基幹産業といわれる農林業の振興について、調査では重要度、満足度で中ほどになっていますが、実際に農業をしている私から見ると本当に死活問題に関わる厳しい問題です。特に野菜は人口に対し、販売の大手の参入で安売り競争になっていますし、個別所得補償などについては具体的な施策が見えません。その点について今後とも町の基幹産業であるという意気込みでお願いします。

議題Ⅱ「野中地区設定のテーマ」

（１） 舟見中学校の統合問題について

☆住民

先ほど町長さんからお話がありました、11 月 11 日に舟見中学校において、入善中学校への統合説明会が開催されました。副町長、教育長から保護者会、野中、舟見地区の区長会に対し、生徒数の減少、老朽化した校舎の安全性を考えると平成 22 年３月末をもって舟見中学校を閉校し、４月から入善中学校へ統合したいと説明されました。新聞報道にもそのように載ったところです。我々地区住民としては、長い歴史と伝統ある舟見中学校の閉校は、誠に偲び難く、過疎化に拍車がかかる気もします。

保護者会の要望する各事項に最大限の実施をお願いします。特に通学バスや子ども達の心のケア、また入善中学校の受け入れ態勢など子供達、保護者会に対する十分な話合いをお願いします。

野中地区の活性化対策について

① 地区内に、町の施設として耐震構造の建物は無く災害時の避難場所の、安全・安心性の

確保、地区の活性化のために、多目的機能を備えた建物の早期建設をお願いしたい。

② 下山芸術の森（中沢地区内）がありますが、そこに未使用の建物が併設されており、そこに福祉施設を設置して欲しい。

③ 地区に地場産業の誘致を図られたい。

④ 県道朝日黒部公園線の早期完成が図られるよう県へ積極的に要望されたい。

これまで、野中地区は、小規模ゆえに小学校や保育所の統廃合問題に悲願の思いで苦渋の選択をし、町に協力をしてきました。町当局の誠意ある回答をお願いします。

★教育長

舟見中学校、ひばり野小学校の保護者代表で組織された舟見中学校問題特別委員会の皆さんが昨年４月から組織され、これまで幾度となく舟見中学校の子供達の今後について熱心に議論をしていただきました。保護者会として平成 23 年３月に統合という１つの決意をされたわけですが、昨年の１月に町長が入善町の子供達、特に野中地区、舟見地区の子供達には、安全な場所で、安心して学習してもらいたいという願いから、理解が得られれば入善中学校へ来ていただきたいという提案が発端となり、特別委員会の皆さん、区長会の皆さんと、この問題について何度も協議をさせてもらいました。本当に特別委員会の皆さん、区長会の皆さんに子供達の安全を第一に考え、決断をしていただき深く感謝を申し上げます。今、特別委員会も解散されたと聞いています。８月に出された統合に対する要望は特別委員会の皆さんと協議をしております。幾つか細部を協議するためにも、ひばり野小学校ＰＴＡ会長、副会長、舟見中学校会長、ＰＴＡ副会長にその役割をしていただけると聞いています。これからの子供達に安心して学習できるように第一に考え、要望に対し誠意を持って対応していきたいです。

スクールバスについても、登下校時に事故が発生してはならないので、まず県道も整備されていないということなので、朝・夕の登下校についても、バスを利用して地区に帰っていただきたいという願いがあります。大きな問題に、ご理解賜りましたことを感謝します。

★教育委員会事務局長

農村婦人の家は、昭和 55 年 12 月に建てられた建物で、30 年が経過しようとしており、相当老朽化しまして、加えて集会室が２階にあるが２階にはトイレの施設が無く、特にお年寄りの方にとって使いづらい施設となっております。

また最近は地震が全国各地で起こっており、耐震化についても、安全・安心の観点から改修時期にきていると思います。町内には昭和 50 年代に建てられた建物が 4 地区（野中・舟見・横山・飯野）にあり、町としてもこれらの施設改修は重要な課題と思っています。野中地区のあぐり館についても、旧野中小学校の校舎を利用して現在に至っており、これらについても老朽化し、耐震化されていないことから、万が一の際に避難場所として使用できない状況であると思っています。

先ほどから新総合計画の話も出ていますが、町では野中地区を含め、耐震化された地区センター的な施設整備について、新総合計画の中に盛り込み、取り組むよう計画をしています。少子・高齢化の問題、地震など防災に対応した施設、世代間交流ができる施設など、子どもからお年寄りまで地域の皆さんの拠点施設として整備していきたいです。具体的な建設計画策定の

際には、どのような場所にどのような施設を造るのかを地域の皆様方にも協議に加わっていただき、地元の意向をふまえた施設整備を考えています。

★農水商工課長

企業誘致は地区の活性化のみならず、町全体の活性化、若者の定住、人口対策、雇用の確保などへの有効な手段と思っております。

地域の資源、環境を全面に押し出し、ＰＲをして今までも優良企業を全国の競争から勝ち抜いて企業誘致に成功しています。このことは定住、活性化の大きな基本です。今後とも県と協力をしながらＰＲをしていきたいです。11 月 30 日に東京・赤坂で富山県主催の企業立地セミナーに、東京の主だった企業に集まっていただき、各市町村がＰＲするそういった場にも参加をし、特に９つの見込みのある企業には、何回も要請をしていきたいです。県が設置している東京の富山事務所、大阪の富山事務所にも積極的に情報をいただき、それをもとに町としても誘致を続けていきたいです。

★教育委員会事務局長

下山芸術の森の中沢地区内には、アトリエ・ハウスと宿泊塔、レストランがあるが、３施設とも発電所美術館の補完施設として供用をされています。発電所美術館では、企画展を年間３本実施しており、その際に作家さんの作品の制作、あるいは宿泊の場として利用されており、入善町の隠れた芸術の発信基地として大切な施設であると思っています。

ご指摘のように利用者数が少ないのではということですが、作家さんが作品制作に利用されているため、人の出入りが少なく、目立ちにくい印象を与えています。野中、中沢地区の活性化のため、有効利用できないかということについては、例えば作家さんと地元の方との交流ができるようイベントを計画したり、いろいろ地元の方と協議をして、どうしたら地域の人を呼び込み、たくさんの人に訪れてもらえるのかについて取り組んでいきたいです。

★建設下水道課長

県道黒部朝日公園線の改修については、過去からバイパスを造るなど、いろいろな話で計画がなかなか最終的に決まらなかった経過があり、どんどん延びてしまいました。現在、県の単独事業として今年度当初事業費は１千万円でした。上田県議のはからいもあり、石井県知事に実際に現場を見に来ていただきました。町も県知事への要望の中にこの路線について少しでも事業の格上げをしていただき、早く完成していただけないかと毎年お願いしており、今年も行ってきたところです。補正により１千万円から５千万円となりました。しかし、この路線については建物等があり、用地補償などに多額の事業費が必要になります。しかしそれでは進み具合が遅いことから、町では国の補助事業として採択されるよう、事あるごとに強く要望しているところです。今後も積極的に県へ働きかけていきたいです。

先ほどから政権交代の話もありまして、国交省が道路に当てる財源の要求額が前年対比で約85％となっております。昨日、一昨日の道路の建設事業について凍結といった話もありました。県においては、呉西の方で２路線が凍結したという話もあります。できるだけ生活に密着した大事な路線を少しでも早く完成にもっていきたいと考えています。

☆住民

野中地区には産業的なものが無い状態ですが、全ての地区に40代以下のやる気のある若手農家の担い手が揃っています。若手の農家が希望を持てるよう、企業誘致をお願いしたいです。個別所得補償の政策など今後の展開が読めないところもありますが、十分情報提供をお願いします。私達の生活が少しでも良くなるようご支援いただきたいです。

★農水商工課長

企業誘致については、労働力となる若者がたくさんいるということで、またいろいろな情報提供を行っていきたいです。

政権が交代し、個別所得補償になっても、町の基幹産業である農業の進める方針は変えてはならないと思っております。とも補償についても、地権者、担い手の方へのいろいろな手法を考え、ＪＡと検討していきたいと思っています。転作についても30%しなくてはならず、ＪＡと連携を取りながら今までの方向を踏まえやっていきたいです。

☆住民

個別所得補償は、委託者への助成が今のところ案の中に入っておらず、各農家の死活問題であり、今までのシステムが崩れる可能性があると思います。委託者側、受託者側に対し公平性のある方法が見つかるのか問題になると思います。

★農水商工課長

地権者にお金が入らないシステムは良くないと思いますので、お互いに納得いただける様、十分検討していきたいです。その際は、生産組合長さんを通して皆さん方と話合いをし、ＪＡさんも意見交換をしたいと言われておりますのでお願いします。

☆住民

舟見中学校の統合問題ですが、夏休み中のバスの送り迎えについては、良い返事が出ていないと聞いています。

地区の活性化について、例えば今江太鼓は30年の節目を迎えております。親子３代という家もあります。ここまで地区と密着をしているのは少ないと思います。野中地区の活性化、活力になっていると思います。

☆住民

舟見中学校の統合問題ですが、平成22年４月に統合しますと11月11日の会合で決まったと理解をしております。統合の時期についてなぜ来年になったのか、統合をするなら今年の４月の内に町の方から、強く言ってもらえなかったのか非常に残念です。運動会や、文化祭で最後に子供達の思い出作りもできたのではと思います。その被害に遭ったのは子供達かなと寂しく思います。

町の教育委員会の方で、舟見中学校と入善中学校の交流を行うということで、11月６日文化祭前の入善中学校へ舟見中学校の子供達が行って来ましたが、ちょうどその頃新型インフルエ

ンザの流行時期でした。なぜそんな時期に交流を行ったのか、安心・安全と今日、町長さんは言われましたが、私はそうではないと思います。また教育長さんが、その後ひばり野小学校へ挨拶に来られ全校生徒の前で、統合の報告をされましたが、新型インフルエンザを広げないために、学校の放送を使って伝達をする方法もあったのではないかと思います。

朝の通学バスについて、万が一乗り遅れた場合、家に一旦帰り、入善中学校へ電話をして先生が迎えに来てくれると小学生の子供から聞きました。それはずっと継続をしてもらえるのでしょうか。ＰＴＡ側としては、いじめの問題など心配をしており、心のケアなど要望があると思いますが、町が積極的に努力をして欲しいと思います。

★教育長

全体の保護者会の中で統合をするにあたり、地域の皆さん、子供達にとっても入善中学校で学んで良かったと言われるように、私達はその環境作りをしていきたいです。細部につきましては舟見中学校ＰＴＡ、ひばり野小学校ＰＴＡの代表の方と十分に協議をしていきたいです。

（２）安心、安全のまちづくりについて

☆住民

① 町道上今江西中線の整備（拡幅）について

町当局に要望をしているところですが、一向に改善をされていないところです。

舟川をはさみ、道路のカーブが多く、また野中の神社から舟川までの間、路肩が崩壊しており、両サイドの白線が全く無い。舟川橋にかかる所の安全柵が全くされていない。アスファルトに関しては、完全に落ちているものもあります。路肩の改修、のり面からコンクリートで立ち上げていただき、拡幅と舟川橋の両サイドにガードレールの設置と両サイドの白線をお願いしたいです。

② 防犯灯の設置について

町道上今江西中線の野中交差点（野中神社）から以東側に防犯灯がなく住宅が少ないこともあり、２灯しかなく非常に暗く地区住民から苦情が出ています。電柱についてはどこに設置されても大丈夫なようになっていますので、防犯灯を設置していただきたいと思います。

③ ＡＥＤの設置（婦人の家）について

野中婦人の家にＡＥＤを設置して欲しいです。また防災訓練にも活用したいので、消防署などの出前講座による研修会を開催し、指導をお願いしたい。

☆住民

野中簡易水道（野中簡易水道と野中東簡易水道）の給水管の布設替えについて

昨年も質問をさせてもらいましたが、全部布設替えをしたら、いくらほどかかるか聞いたところ、後日舟見地区の例をあげていただき、舟見地区よりも距離が長くなるため経費はかかるということでした。

給水管は老朽化し、漏水箇所が多くあるので布設替えをお願いします。

☆住民

ＡＥＤの設置について、10 月に女性議会が開催され、野中の女性議員も出席をして安心、安全のまちづくりを勉強するうちに、野中地区にＡＥＤの設置がされていないことが分かりました。その話を聞き、11 月に婦人会の学習会で消防署から４名の消防士を招き、心肺蘇生とＡＥＤの講習を行いました。ＡＥＤを見るのも使用するのも初めてで、興味深く講習を受けることができました。

野中地区には３人に１人が 65 歳と高齢化が進んでいます。婦人の家に限らず、あぐり館、公民館にＡＥＤの設置をお願いします。

★建設下水道課長

町道上今江西中線の整備について

本路線は一番危ない箇所について、舗装整備中であり 12 月末の完成を予定しています。路肩の崩壊箇所、及び白線については新年度で対応できないか検討をしています。

給水管について今後整備をするにあたり、国などから補助金をもらう為には、耐震工法で行わなければならず、通常の２倍から３倍の事業費がかかります。実際に舟見地区の改修・整備を行いましたが、簡易水道は特別会計で行っていることから、それ相応の負担をしていただいている現状です。今後早急にコンサルを通じ、現状と今後どうあるべきかを含め、本当に耐震工法の規格できちんと行うべきか、ある程度町の単独の方法で、皆さん方に負担をあまりかけない方法もないか早急に検討をするということで、その後幾つか方策が見つかれば、地元の皆さんと協議をして進めたいです。特に区長会長さんを窓口にして、決まり次第報告をしていきたいです。

★教育委員会事務局長

ＡＥＤの設置については、現在全小中学校及び総合体育館を始めとしたスポーツ施設など町施設 15 ヶ所に設置をしています。

発達成長期にある小中学生が通う学校やスポーツ施設を中心に万が一に備え、平成 17 年から順次設置をしてきています。

地区の方が多く集まる公民館施設においても、ＡＥＤの設置をということですが、設置に関わる基本的な考え方は、運動・スポーツなど、ある程度体に負担をかける施設を念頭に設置してきた経緯があり、公民館については、その必要性が少ないのではないかと考えています。

ただ、あぐり館は軽スポーツをする施設を備えており、野中地区にもＡＥＤが備えられていないということも考え、設置について検討をしていきたいです。

★消防署長

ＡＥＤの出前講座につきましては、各種団体や事業所等へ出前講座として実施しているところです。野中地区においても、出前講座の申し込みがあれば、救命救急士や救急隊員を派遣して、ＡＥＤの講習を実施します。同時に心肺蘇生法の講習も実施されれば良いかと思います。

★総務課長

入善署管内において、３年半ほど交通死亡事故ゼロが続いていましたが先月、上原地区内で交通死亡事故が発生しました。被害に遭われた方、運転手とも高齢者でした。今月 11 日から交通安全の県民運動がスタートします。３ＵＰ運動のマナーアップ、チェックアップ、ライトアップを強化していこうということです。歩行者の方は夜間、夕方の外出時には是非、反射材を身に付けていただければ、事故防止にもつながると思います。

防犯灯については、まず地権者の了解を取って頂きたいと思います。電柱については、北陸電力へ要望をするのも有効であると聞いておりますので、今後区長さんと相談をさせて欲しいです。

（３）生活・環境の改善について

☆住民

野中農村公園は、遊具が老朽化しており、危険であることから更新をお願いします。

愛犬家の糞の後始末についてですが、入善町には約 2,300 頭の犬がいるが、これは個人の問題かもしれませんが広報などで一般の方にマナーを徹底するようＰＲをお願いできないでしょうか。

☆住民

放送・音響設備（あぐり館内）の設置について

防災訓練や地区運動会、敬老会、あぐりフェスタなどの催しをする場合、音響設備が無くリースしています。

★建設下水道課長

公園の遊具については、平成 20 年度に専門業者による安全点検を実施し、その結果を踏まえ、随時補修、更新を行ってきております。今年度以降もそのような形で対応をしていきたいです。今年度中に現場を再度確認し、すべきものは早急に対応をしていきたいです。

★住民環境課長

毎年、狂犬病予防注射時に飼い主の方に、マナーアップにつながるパンフレットを配布しています。散歩時には犬のリードを付けること、フンを拾うための移植ごて、袋などを持って散歩していただくようお願いをしています。

また指導、啓発のため、町内 42 名（野中２名）の環境保全監視員や各地区１名の環境保健衛生委員のご協力もいただいています。フンを放置すれば不法投棄同様、ポイ捨て条例の罰則規定の適用もありえます。いずれにしても基本的には飼い主さんの良識ということになりますので、今後ともご理解をいただきたいです。

★教育委員会事務局長

音響設備については、野中公民館のポータブル式の物を利用していただきたいです。

グラウンドで利用される場合には、総合体育館にある移動式の音響設備を貸し出ししている

ので、そちらを利用していただければと考えています。難儀をおかけしていることを考えるとなんらかの形で用意できないかと考えていますので、地元の方とも協議をさせて欲しいです。

協働のまちづくり

ご意見カード

～皆様からの主な意見・提言～

回収総数・・・211 件

【防災対策】
・入善町（海岸）と山沿いでは、雪の降り積もりが違うので、除雪車にもっとでてほしい。
・しっかりとした耐震装置の整った施設をつくってほしい。

【防犯対策】
・暗い夜道が多い。街灯を増やしてください。
・中学校の帰宅時間で暗くなると、防犯灯の数が少ないため、不安な気持ちでいるのではと思います。
・カラスのフンの被害が拡大中。駆除をお願いします。

【地域コミュニティ対策】
・自助・共助の社会（地域づくり）：何でも町・県・国に頼むのではなく、自分達・地区で問題解決を推進する計画を進めてほしい。

【環境対策】
・風力発電（個別）やソーラー発電をもっと普及させるべきだと思う。個人でも取り組めるように、町として独自の補助などを用意して、個々で関わりやすい環境を整えてほしい。
・ゴミについて：集落を外れた堤防や道路ぞいにペットボトル、弁当袋の投げ捨てが多い、防止ＰＲ、看板を立ててもらいたい。資源ごみの回収後の状況を知りたい。住民への広報を。
・ゴミ回収は、良く行われているのですが、まだ川に流す人がいるようです。事有るごとにＰＲをしておりますが、まだ足りないようです。行政の方からもお願いします。
・浄化センターパークゴルフ会場の施設拡充について、３つ目のコース（C コース）の増設をお願いしたい。排水施設を早急に造営されたい。風力発電のための風力機の２機目の増営が望ましい。

【生活基盤整備】
・都会のストレスを入善で解消できる町としてアピール。都会や街に住む人達が、入善を訪れて、一番よく口にされる言葉は「気持ちいい」といいます。「何もないですよ」というと「何もないのが気持ちいいし、いやされる」といわれます。ストレス社会の「いやし」になる町として、アピールすればいいと思います。人・農地・水・空気・がストレスを「癒し」ます。
・町道の路肩が崩れているので、修繕願いたい。

【伝統文化】
・学校行事（運動会など）に祭りを取り入れていきたい。
・伝統文化の保存、伝承が薄れている。地域でわずかながらやっているものの、ケーブルテレビで特集を組み、各地区の食文化、芸能、行事を推進してほしい。

【子育て支援】
・上原地区は、子育てサロンは実施されているが、今後ぜひとも学童保育を積極的に導入していただきたい。
・学童保育の充実をお願いします。

【高齢者対策】
・高齢化対策を進めてほしい。例えば、高齢者を収容できる施設の設置、または、ホームヘルパー等施設に必要な人員の確保
・サンウェルだけでなく、出前講座で各公民館でリハビリの指導をしていただきたい。
・高齢者、障害者などの交通弱者に対するのらんマイ・カー等の利便性も向上。（所要時間、コース、本数の検討）

【まちづくり懇談会】
・地区の意見がなかなか反映されないし、もっと時間を延長するか日中の開催を願いたい。

水キラキラ
町いきいき入善

まちづくり懇談会の記録誌は、入善町ホームページ上にも掲載されています。
【ＵＲＬ】http://www.town.nyuzen.toyama.jp/